

ダブルエントランス LIXIL 独立タイプ(アーチ/スクリーン仕様) 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 施工は必ず専門の工事業者の方が行なってください。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

＜施工の前に＞



注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 戸建住宅専用商品です。マンション等の高頻度に開閉する場所への設置はできません。
- 崖上や風の通り道等の強風地域および豪雪地域への施工は避けてください。
- 製品の作動範囲に障害物が無いか確認してください。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
・推奨締付けトルク：2.5N・m ± 0.5N・m (25±5kgf・cm)
- ガラススクリーンの組立てには、ガラスリフター(吸盤)が2つ必要です。
ガラスリフターを使用しない場合、ガラスの破損やケガをするおそれがあります。(ガラス1枚あたりの重量は約20kgです。)



ポイント

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工場所の寸法に製品が正しく納まるか確認してください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆりみがないか確認してください。

🔑 ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<基礎工事についてのご注意>

⚠ 注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

🔑 ポイント

- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 柱・フレームの施工寸法に狂いが生じていないか、確認してから養生してください。
指定寸法から外れると以下の不具合が発生するおそれがあります。
 - ・パネルの吊下げができなくなります。
 - ・施錠ができなくなります。
 - ・施工後、正常な開閉ができなくなります。

1. 施工前の重要確認事項

1-1 施工条件

(1) 壁際へ設置する場合

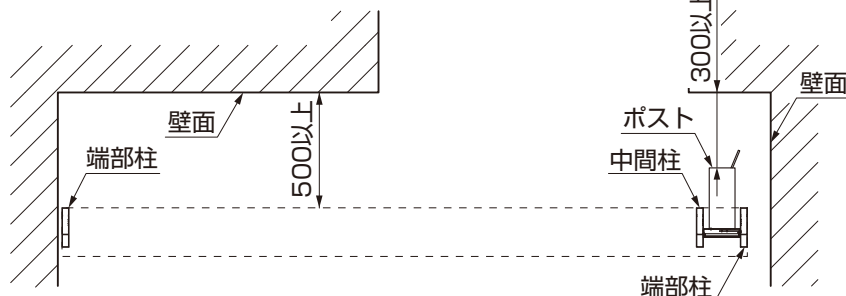


図1-1 アーチの場合

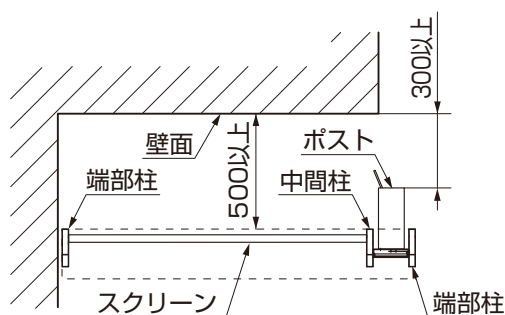


図1-2 スクリーンの場合

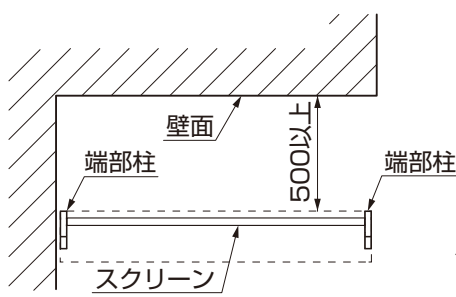


図1-3 スクリーン単独の場合

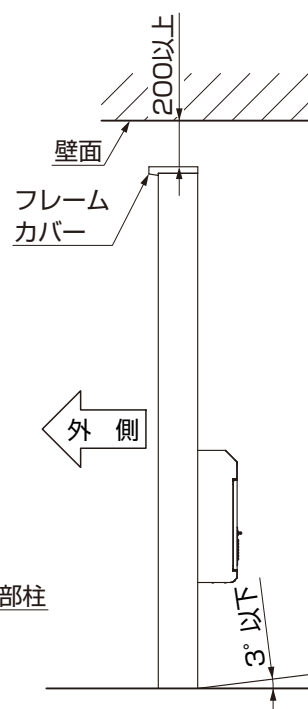
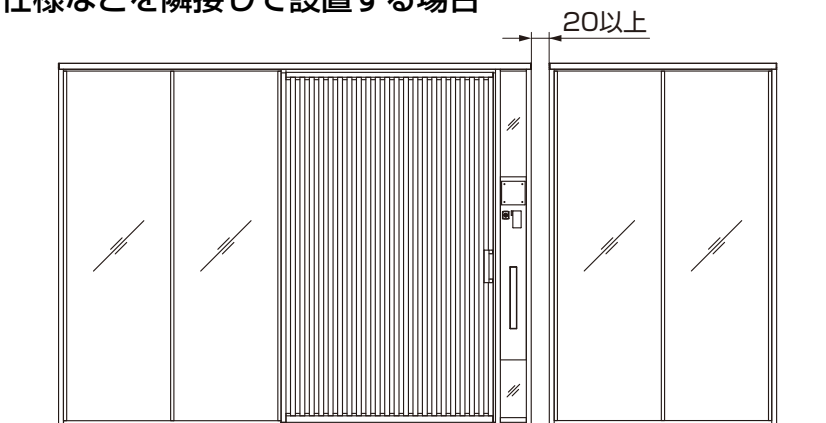


図1-4

ポイント

- 柱の背面は壁面から500mm以上離して施工してください。柱と壁面の間隔が狭いと、柱の背面側からの施工ができなくなります。
- ポストの背面は壁面から300mm以上離して施工してください。ポストと壁面の間隔が狭いと投函物が出せなくなるおそれがあります。
- フレームカバーの上部は壁面から200mm以上離して施工してください。フレームカバーと壁面の間隔が狭いとフレームカバーの取付が出来なくなります。
- 柱の背面側にこう配をつける場合は、3°以下にしてください。こう配が大きくなるとガラススクリーンや縦板張スクリーンの取付けができなくなります。

(2) 吊引戸仕様などを隣接して設置する場合

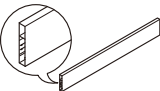
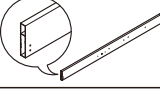


ポイント

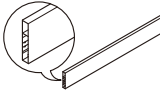
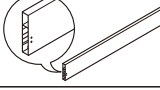
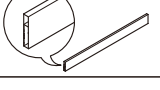
- 吊引戸仕様などを隣接して設置する場合は、端部柱同士の間隔を20mm以上離してください。端部柱同士の間隔が狭いとフレームカバー端部キャップの取付が出来なくなります。

2. 梱包明細表

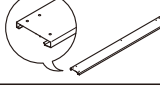
【1】 柱セット スクリーン／アーチ用

名 称	略 図	員 数	
		右 ファンクション用	左 ファンクション用
端部柱		1	
端部柱（ポスト側）		1	
中間柱 （スクリーン／アーチ用）		1	

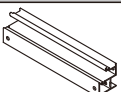
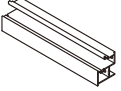
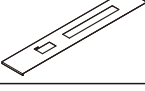
【2】 柱セット スクリーン単独用

名 称	略 図	員 数	
		1連	2連
端部柱 右ファンクション		1	
端部柱 左ファンクション		1	
中間柱		－	1

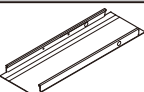
【3】 フレームセット

名 称	略 図	員 数				
		アーチ用	スクリーン 単独用 (1連)	スクリーン 単独用 (2連)	スクリーン用	
					右 ファンクション用	左 ファンクション用
ガラス枠上		1	－	－	1	
フレームカバー		1	1	1	1	1
スクリーン上枠		1	1	2	1	1
間口カバー		1	－	－	－	－

【4】 ファンクションパネル

名 称	略 図	員 数	
		インターホン 内蔵	インターホン 面付
Fガラス枠-1		2	
Fガラス枠-3		2	
ファンクションパネル		右ファンクション用または 左ファンクション用 1	
Fガラス枠カバー		2	
Fガラス枠カバー（パネル受け）		1	
Fガラス枠カバー（下）		1	

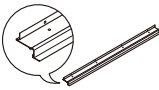
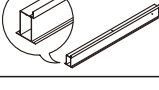
【4】 ファンクションパネル つづき

名 称	略 図	員 数	
		インターホン 内蔵	インターホン 面付
センターブロックベース		右ファンクション用または 左ファンクション用 1	
インターホン子機取付金具A		1	－
セッティングブロック (t=2)		4	－
セッティングブロック (t=10)		2	－
【4-1】 M4×8ナベ小ネジ		2	－
【4-2】 M4×8サラ小ネジ		2	－
【4-3】 M4×12ナベ小ネジ		2	－
【4-4】 M4×18ナベ小ネジ		2	－
【4-5】 M4×6ナベ小ネジ		2	－

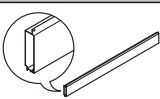
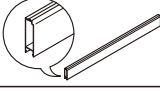
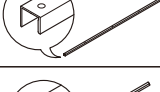
【5】 ガラスパネル

名 称	略 図	員 数
ガラススクリーン		1

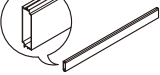
【6】 ガラスパネル枠材

名 称	略 図	員 数
下枠		1
縦枠		2
上枠		1
上下枠押さえ		4
中間受		1
縦枠カバー		2
上下枠押さえカバー		4
中間押さえ		1
中間受けカバー		1
セッティングブロック (t=2)		4
下枠取付金具		2
中間受け下部取付金具		1
中間受け上部取付金具		1
【6-1】 φ4×16トラスタッピンネジ3種		2
【6-2】 φ4×13ナベドリルネジ		34
【6-3】 φ4×10トラスタッピンネジ2種		9

【7】 縦板張材（端部用）

名 称	略 図	員 数
縦張材（端部側）		1
縦張材（中間柱側）		1
縦張材ホルダー		1
縦張材受		1
後付けビード		1
縦張材-中間柱取付金具		1
【7-1】 φ4×13ナベドリルネジ		13
【7-2】 φ4×50ナベタッピンネジ2種		2
【7-3】 φ4×10トラスタッピンネジ2種		10

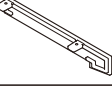
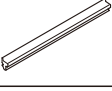
【8】 縦板張材（中間用）

名 称	略 図	員 数
縦張板		9

【9】 ファンクション用ガラス

名 称	略 図	員 数
ファンクション用強化ガラス		上下各1

【10】 部品セット スクリーン／アーチ用

名 称	略 図	員 数
ファンクション補強材		3
ガラス枠（下）取付金具A		8
セッティングブロック (t=10)		4
フレームカバー-端部キャップ		LR各1
ポスト取付スペーサーネジ		4
後付ビード		4

2. (つづき)

【10】 部品セット スクリーン／アーチ用 つづき

名 称	略 図	員 数
柱-枠取付金具		2
柱-枠取付金具 (連結用)		1
【10-1】 M4×8ナベ小ネジ		8
【10-2】 φ4×12トラスタッピンネジ3種		28
【10-3】 φ4×15サラタッピンネジ2種		4
【10-4】 φ4×13ナベドリルネジ		9
【10-5】 M4×8十字穴付き六角ボルト (PW+SW)		4
【10-6】 M4×12サラ小ネジ		2
取付説明書〈B076〉	—	1
取付説明書〈UB012〉	—	1

【11】 部品セット スクリーン単独用

名 称	略 図	員 数
フレームカバー端部キャップ		LR各1
柱-枠取付金具		2
柱-枠取付金具 (連結用)		1
【11-1】 φ4×13ナベドリルネジ		9
【11-2】 φ4×12トラスタッピンネジ3種		12
【11-3】 M4×12サラ小ネジ		6
取付説明書〈B076〉	—	1
取付説明書〈UB012〉	—	1

【12】 サイン (ガラスサイン・鋳物サイン)

名 称	略 図	員 数		
		ガラス サイン	鋳物 サイン	ガラスサイン (特注)
ガラスサイン		1	—	1
鋳物サイン		—	1	—
ネームシール		2(※)	1	—
【12-1】 化粧ネジM4用		4	—	4
【12-2】 M4×20ナベ (SW+PW)		4	—	4
【12-3】 ゴムスペーサー L=6		4	—	4
【12-4】 M4ゴムワッシャー		4	—	4
【12-5】 φ4×6 トラスタッピンネジ3種		—	2	—
【12-6】 M4六角ナット		—	—	—

※黒文字と白文字の2種類同梱しています

【13】 サイン (江戸ガラスサイン・備前焼サイン)

名 称	略 図	員 数	
		江戸硝子サイン (特注)	備前焼サイン (特注)
江戸硝子サイン		1	—
備前焼サイン		—	1
【13-1】 化粧ネジM4用		—	4
【13-2】 化粧ネジM6用		4	—
【13-3】 M6高ナット L=15		4	—
【13-4】 M6ゴムワッシャー		8	—
【13-5】 M4全ネジ L=25		—	4
【13-6】 M6全ネジ L=40		4	—
【13-7】 M4六角ナット		—	4
【13-8】 M6六角ナット		4	—

【14】 スリム縦型ポスト

名 称	略 図	員 数	
		プッシュ 錠付き	錠なし
ポスト本体 プッシュ錠付き		1	—
ポスト本体 錠なし		—	1
取付説明書〈A460〉	—	1	1
取扱説明書〈UA172〉	—	1	1

【15】 LED照明

オプション

※別途トランス電源ユニットW25 (屋外用) が必要です。

名 称	略 図	員 数
LEDユニット		1

【16】 トランス電源ユニットW25 (屋外用)

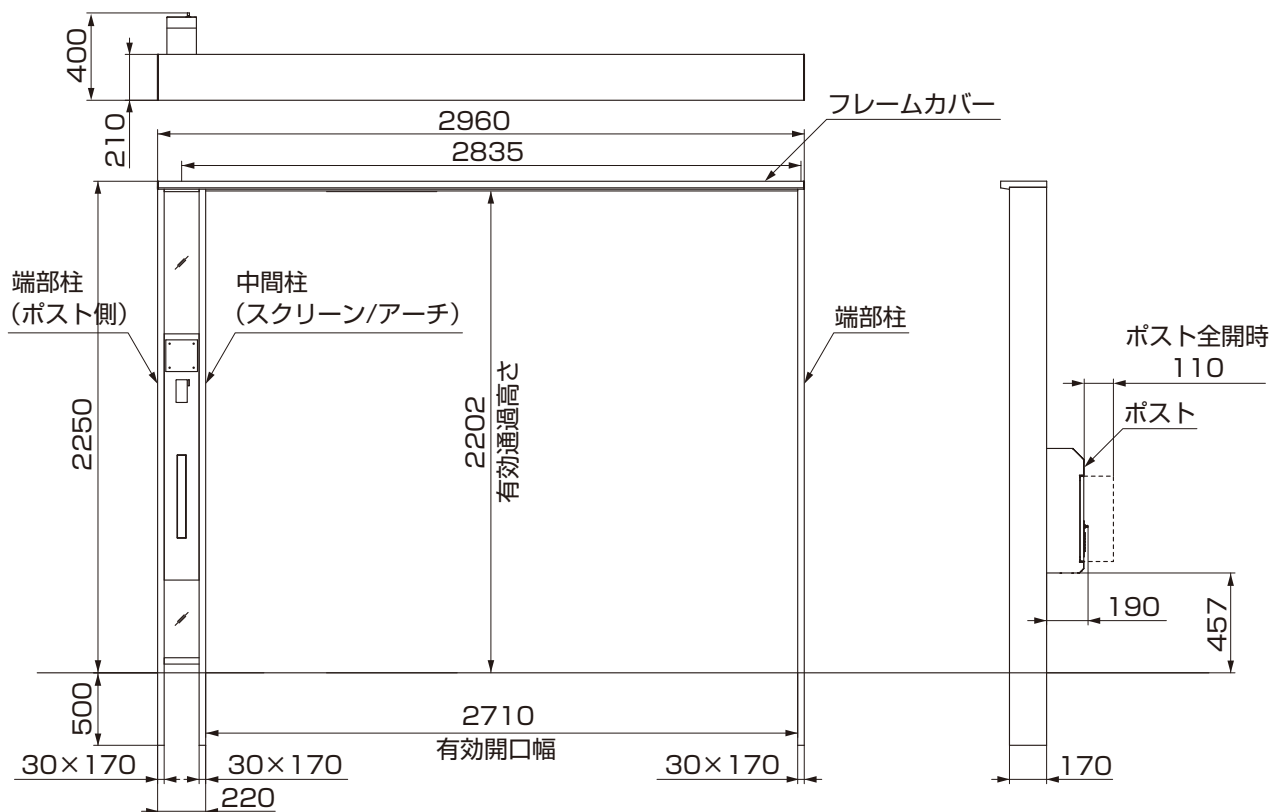
名 称	略 図	員 数
トランス電源ユニットW25 (屋外用) 本体		1
【16-1】 φ4.1×38十字穴付き フランジ付き丸木ネジ		2(※)
【16-2】 カールPCプラグ7.5×35		2(※)
取付説明書〈Z453〉	—	1
取扱説明書〈UZ261〉	—	1

※トランス電源ユニットのカバー内に同梱しています。

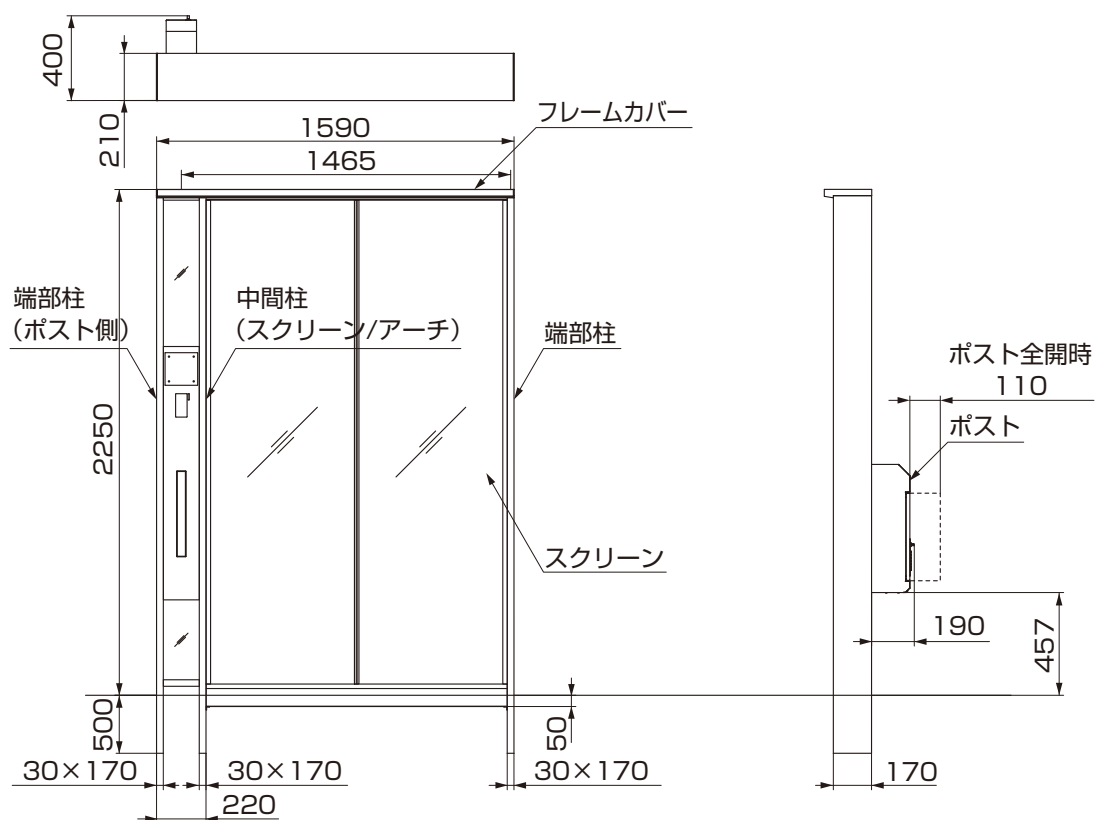
3. 基本寸法と各部の名称

3-1 基本寸法と各部の名称

(1) アーチ ※図は左ファンクションの場合を示します。



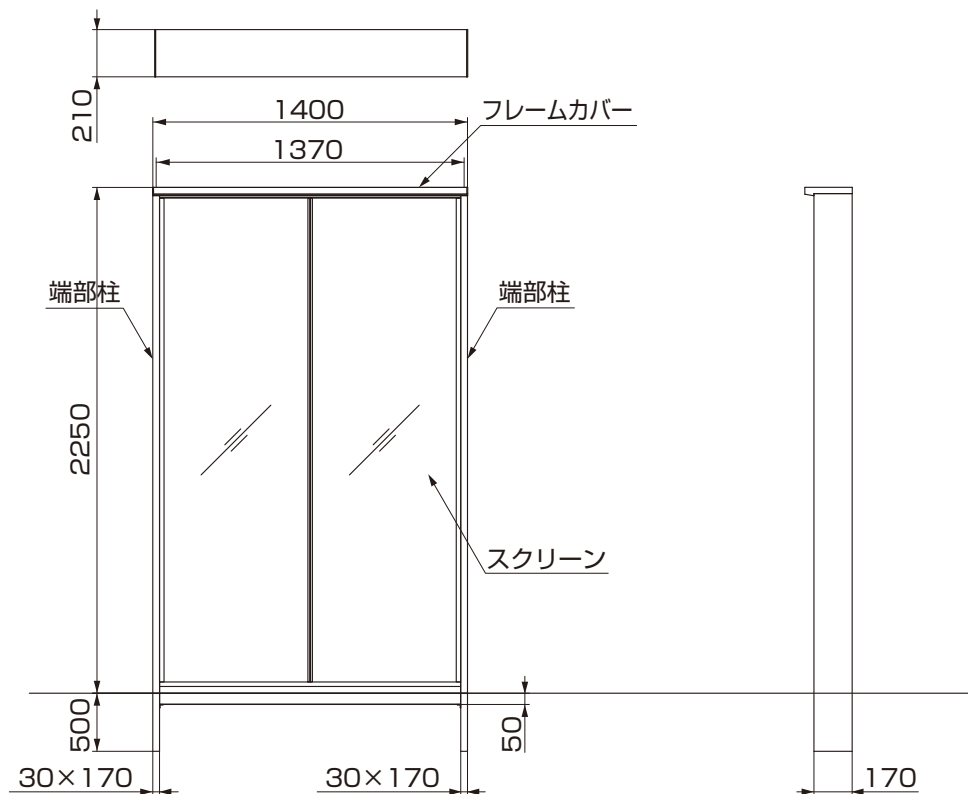
(2) スクリーン ※図は左ファンクション、ガラススクリーンの場合を示します。



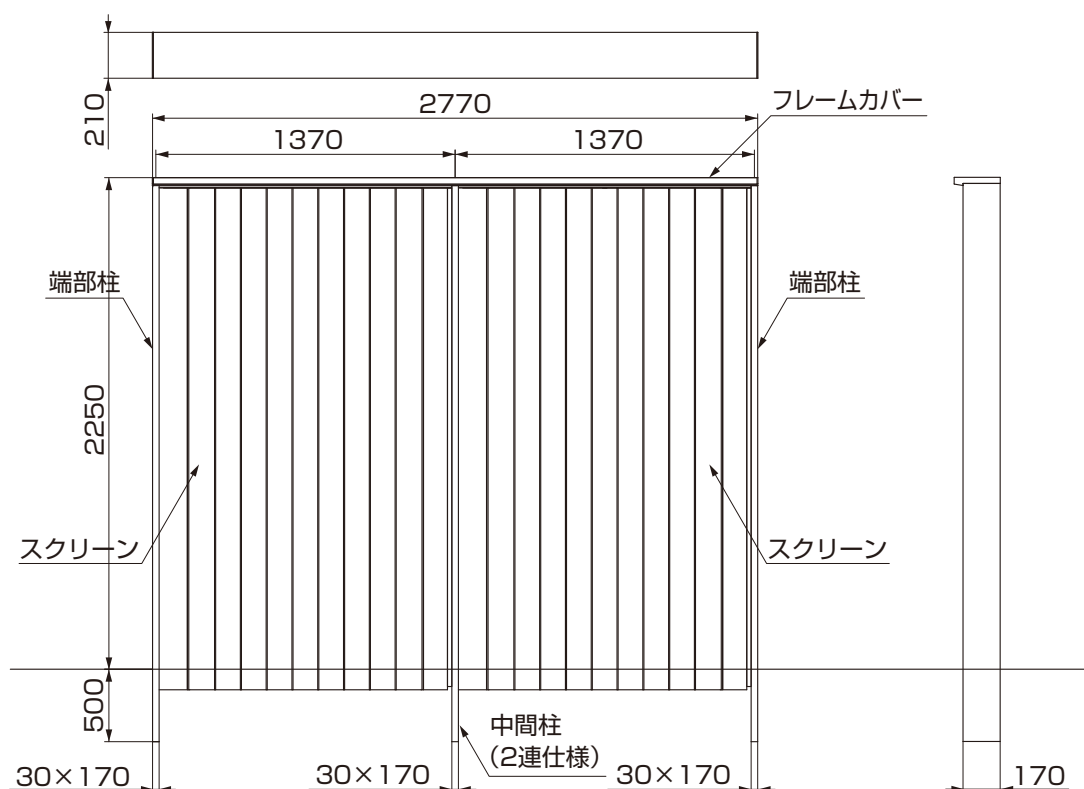
3. (つづき)

3-1 つづき

(3) スクリーン単独 (1連) ※図はガラススクリーンの場合を示します。



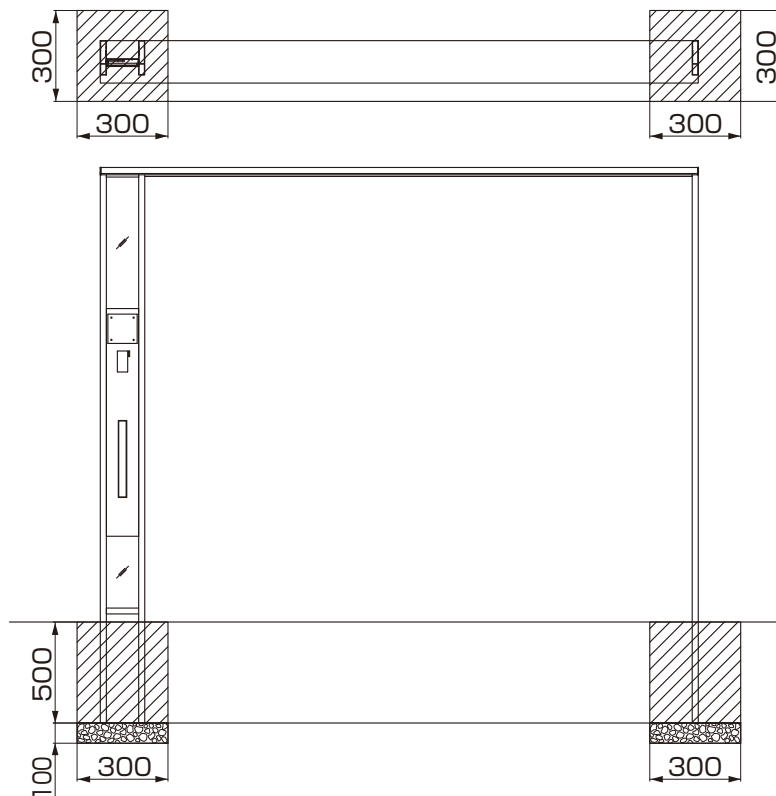
(4) スクリーン単独 (2連) ※図は縦板張スクリーンの場合を示します。



3-2 基礎寸法

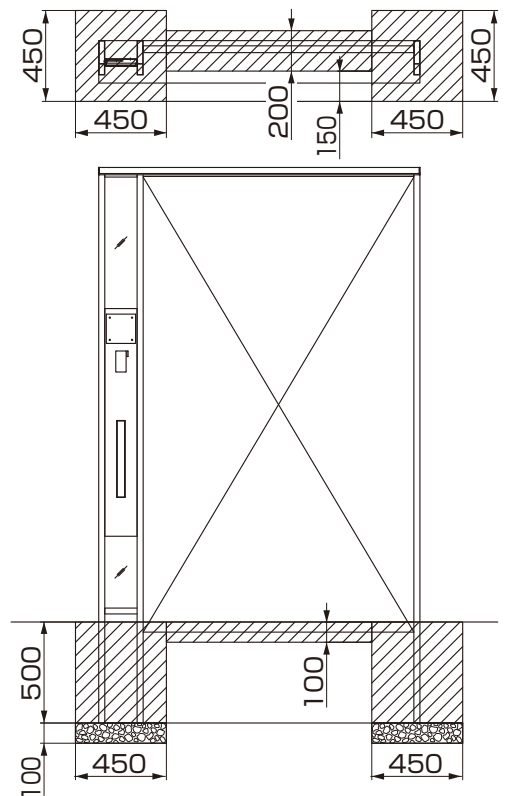
(1) アーチ

※図は左ファンクションの場合を示します。

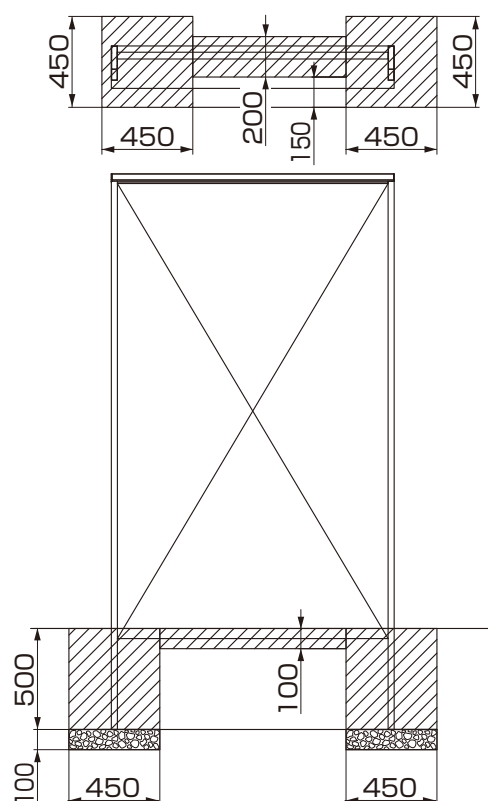


(2) スクリーン

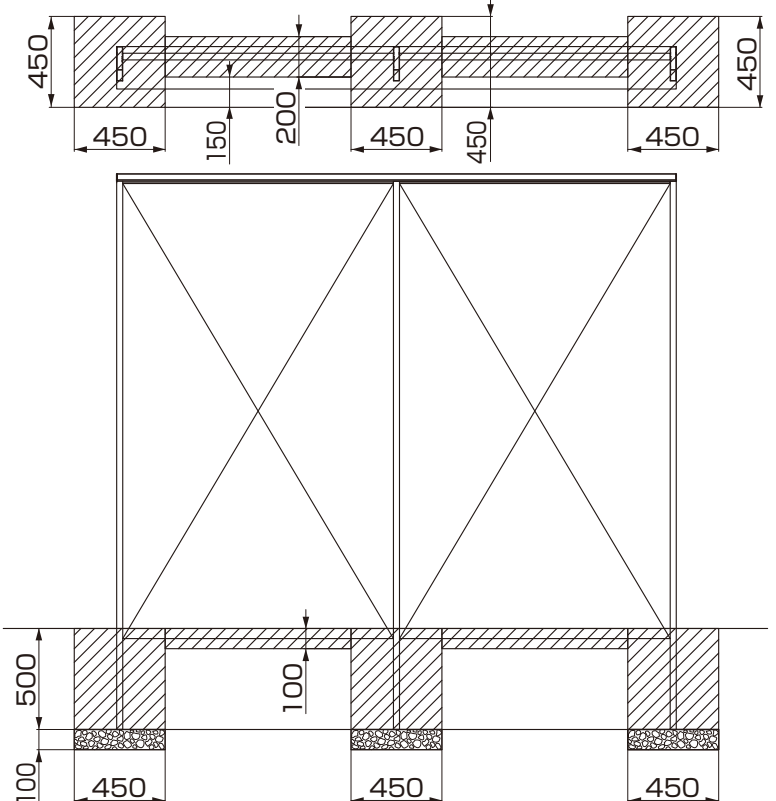
※図は左ファンクションの場合を示します。



(3) スクリーン単独 (1連)

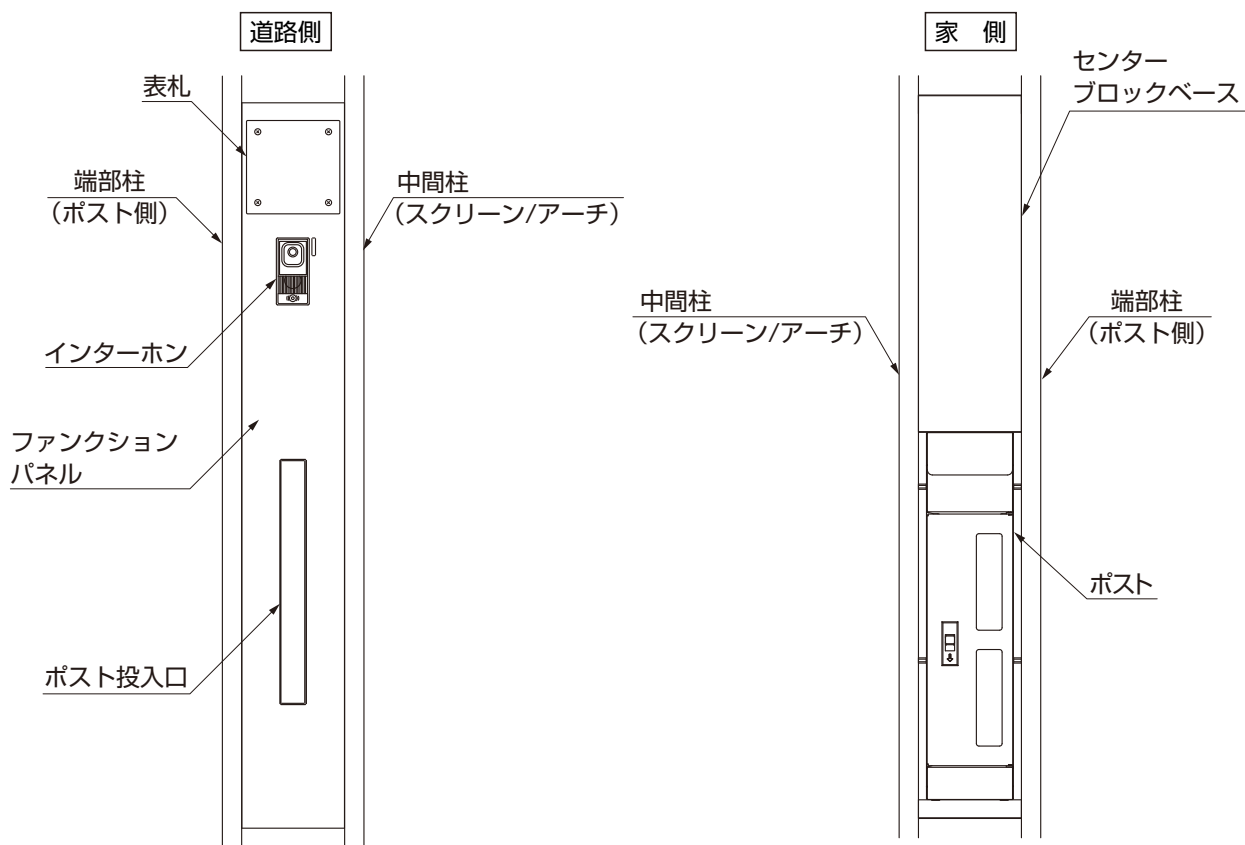


(4) スクリーン単独 (2連)



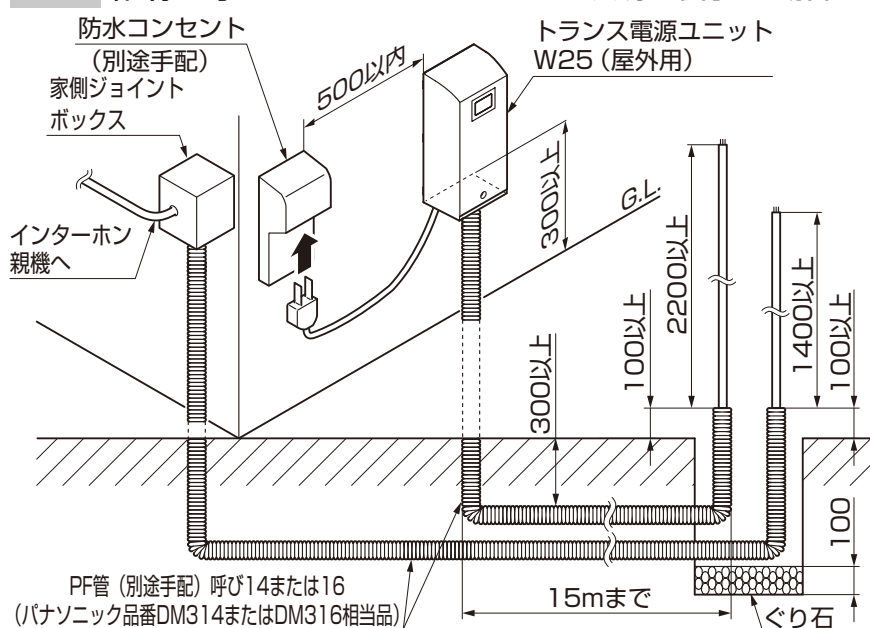
3. (つづき)

3-3 ファンクション部詳細図



4. 基礎施工前の準備 ※これより先の説明の図は、全て右ファンクションの場合を示します。

4-1 配線工事 ※インターホンまたはLED照明を取付ける場合



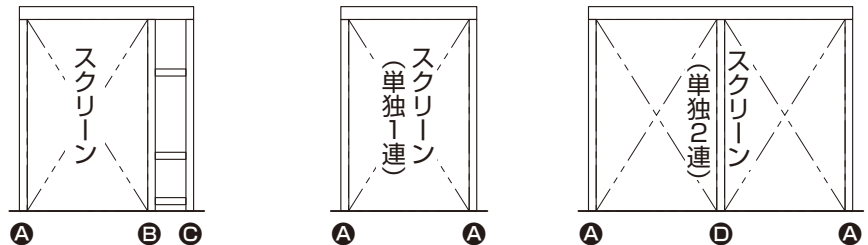
- ①基礎穴を掘り、基礎下に100mm厚のぐり石を敷いてください。
- ②照明およびインターホン用の配線配管をしてください。

ポイント

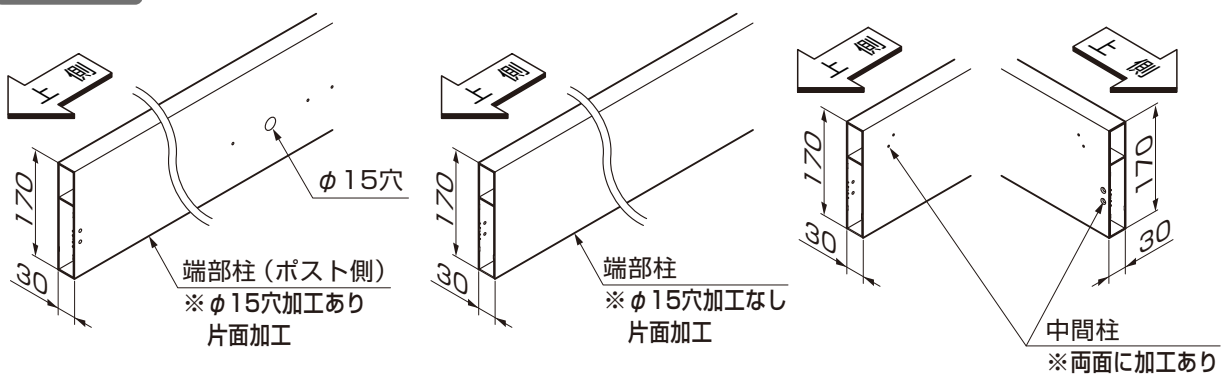
- 配管はG.L.より100mm以上立上げ、パテ埋めなどの処理を施してください。
- 照明とインターホン子機用配線は、PF管により隔離してください。
- トランス電源ユニットW25 (屋外用) の取付けは、トランス電源ユニットW25 (屋外用) 内の取付説明書を参照してください。

4-2 柱の準備 ※スクリーン、スクリーン単独（1連）、（2連）の場合の作業です。

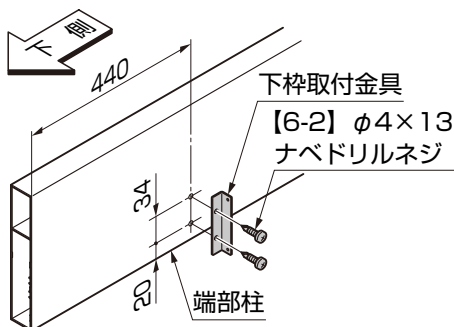
- A : 端部柱
- B : 中間柱（スクリーン/アーチ）
- C : 端部柱（ポスト側）
- D : 中間柱



ポイント

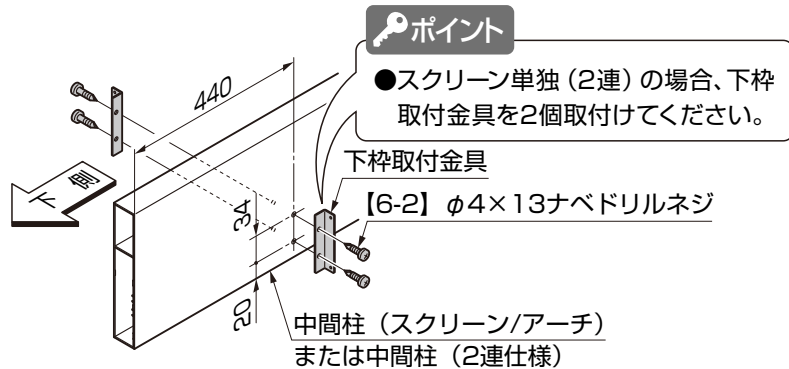


●端部柱と端部柱（ポスト側）は、穴加工の違いで判別をしてください。



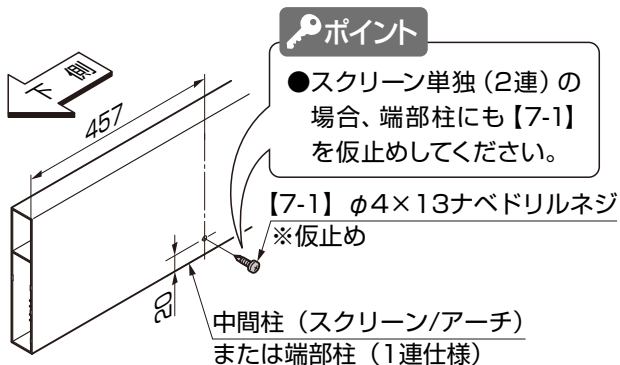
●ガラススクリーンの場合

①柱に下枠取付金具を【6-2】で取付けてください。



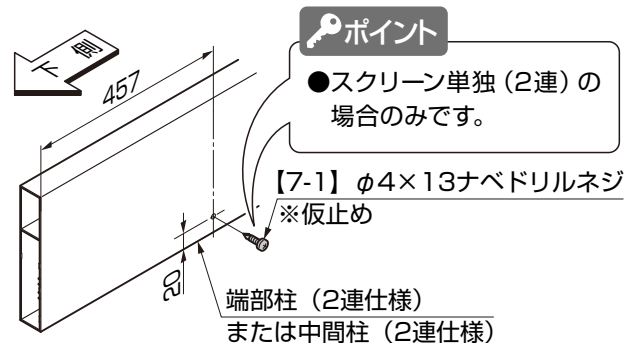
ポイント

●スクリーン単独（2連）の場合、下枠取付金具を2個取付けてください。



●縦板張スクリーンの場合

①【7-1】を柱に仮止めしてください。



ポイント

●スクリーン単独（2連）の場合のみです。

4. (つづき)

4-3 ファンクション柱の組立て

※スクリーン、アーチの場合の作業です。

- (1) 端部柱 (ポスト側) の組立て
(4) 中間柱 (スクリーン/アーチ) の取付け

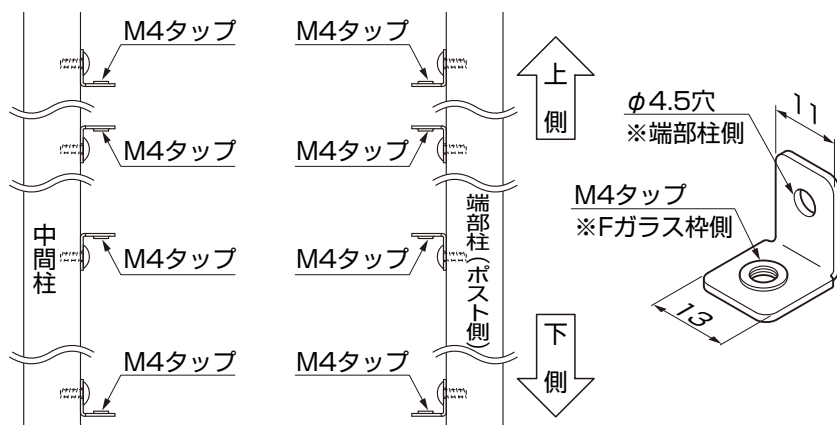
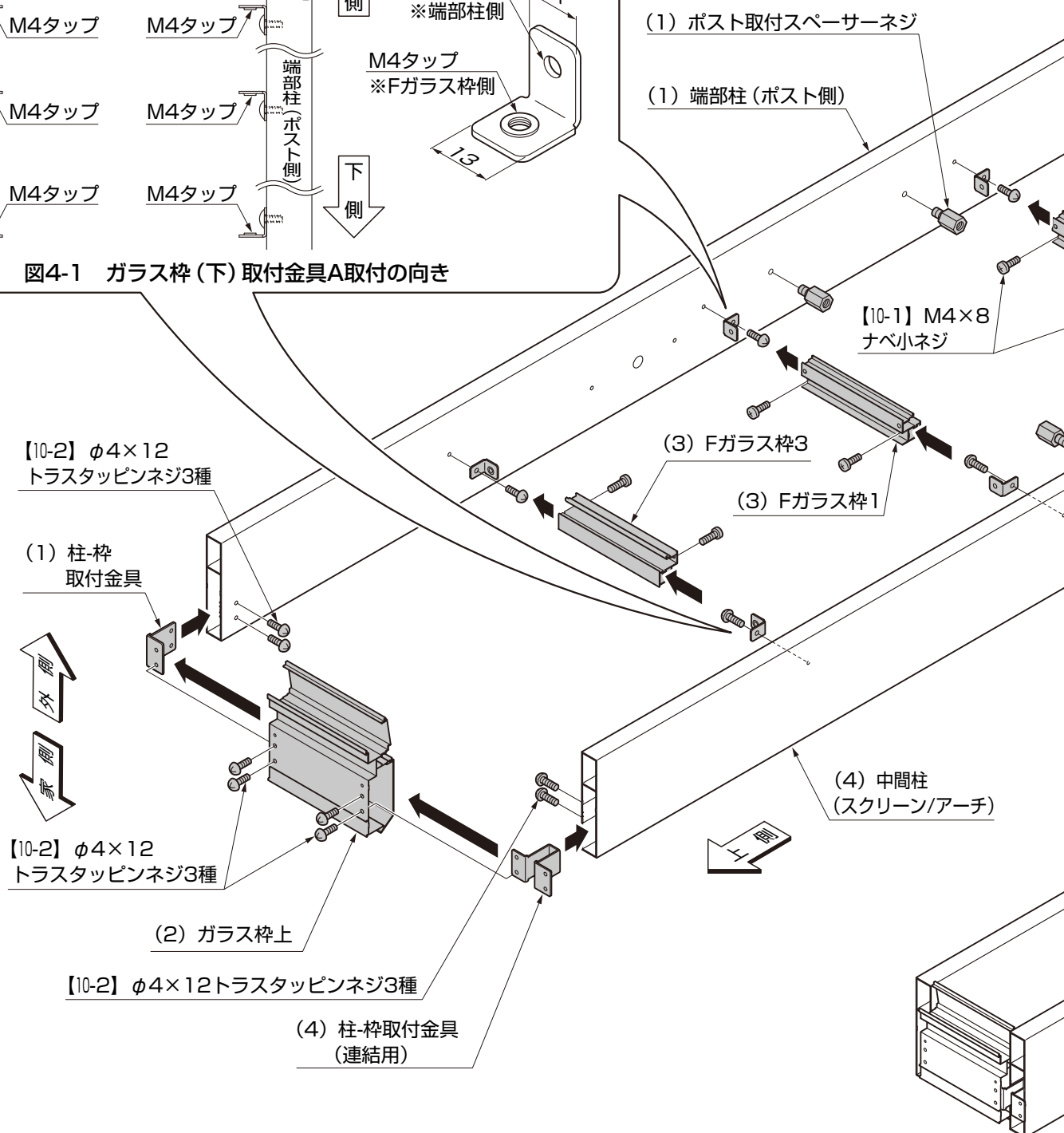
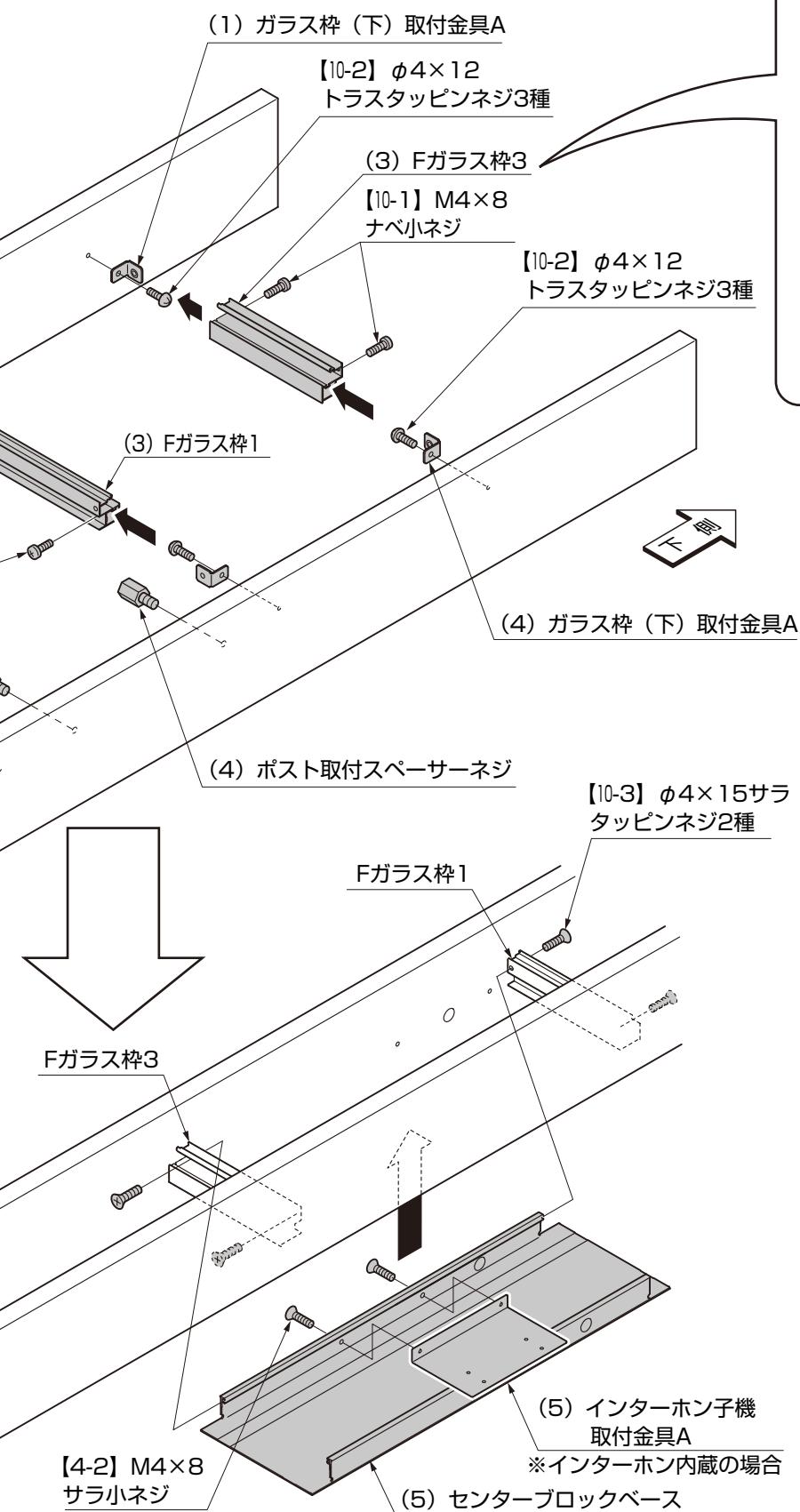


図4-1 ガラス枠 (下) 取付金具A取付の向き





(3) Fガラス枠1、3の取付け

Fガラス枠1

※真ん中に
穴加工あり

Fガラス枠3

※真ん中に
穴加工なし

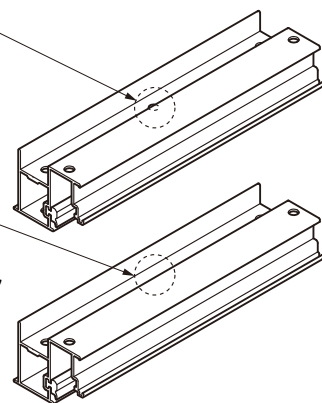


図4-2 Fガラス枠1と3のちがい

(1) 端部柱（ポスト側）の組立て

- ①ポスト取付スペーサーネジ、柱-枠取付金具、ガラス枠（下）取付金具Aを端部柱（ポスト側）に【10-2】で取付けてください。

ポイント

- ガラス枠（下）取付金具Aの取付けには向きがあります。（図4-1参照）

(2) ガラス枠上の取付け

- ①ガラス枠上を端部柱（ポスト側）の柱-枠取付金具に【10-2】で取付けてください。

(3) Fガラス枠1、3の取付け

- ①Fガラス枠1、3を端部柱（ポスト側）のガラス枠（下）取付金具Aに【10-1】で取付けてください。

(4) 中間柱（スクリーン/アーチ）の取付け

- ①ポスト取付スペーサーネジ、柱-枠取付金具（連結用）、ガラス枠（下）取付金具Aを中間柱（スクリーン/アーチ）に【10-2】で取付けてください。

ポイント

- ガラス枠（下）取付金具Aの取付けには向きがあります。（図4-1参照）

- ②中間柱（スクリーン/アーチ）をガラス枠上に【10-2】で、Fガラス枠1、3に【10-1】で取付けてください。

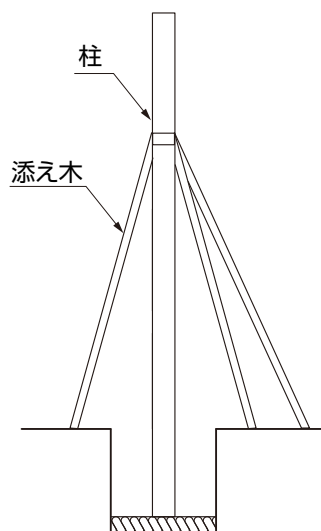
(5) センターブロックベースの取付け

- ①インターホン子機取付金具Aをセンターブロックベースに【4-2】で取付けてください。
- ②センターブロックベースをFガラス枠1、3に【10-3】で取付けてください。

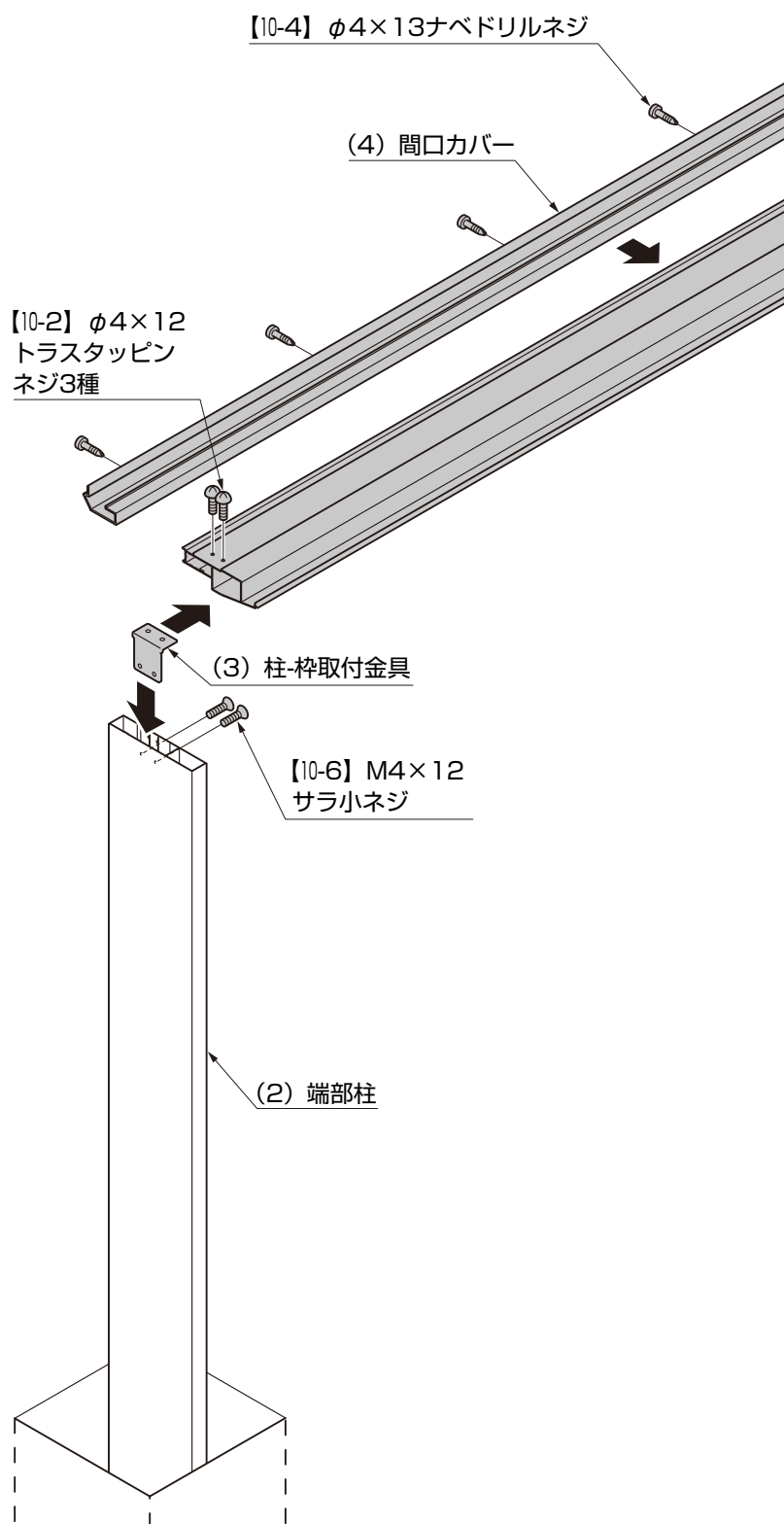
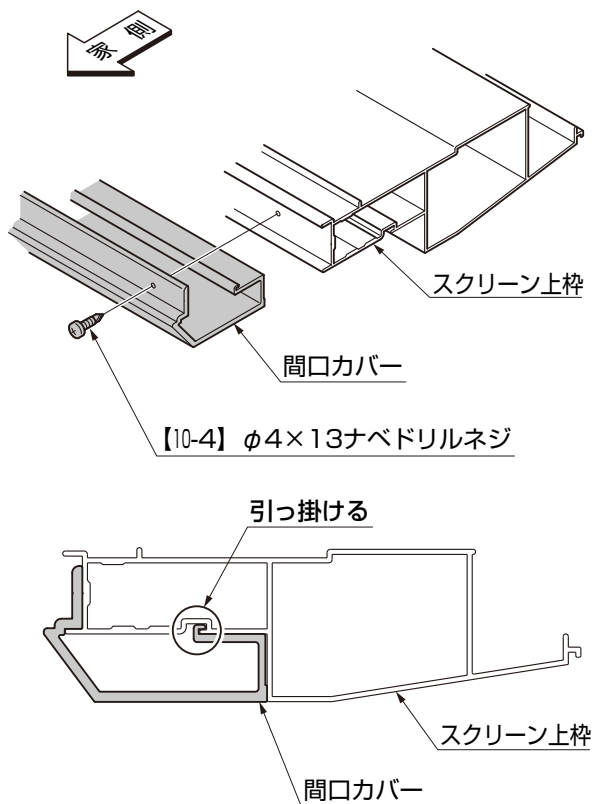
5. 柱とスクリーン上枠の組立て

5-1 スクリーン、アーチの場合 ※図はアーチの場合を示します。

(2) 柱の建込み



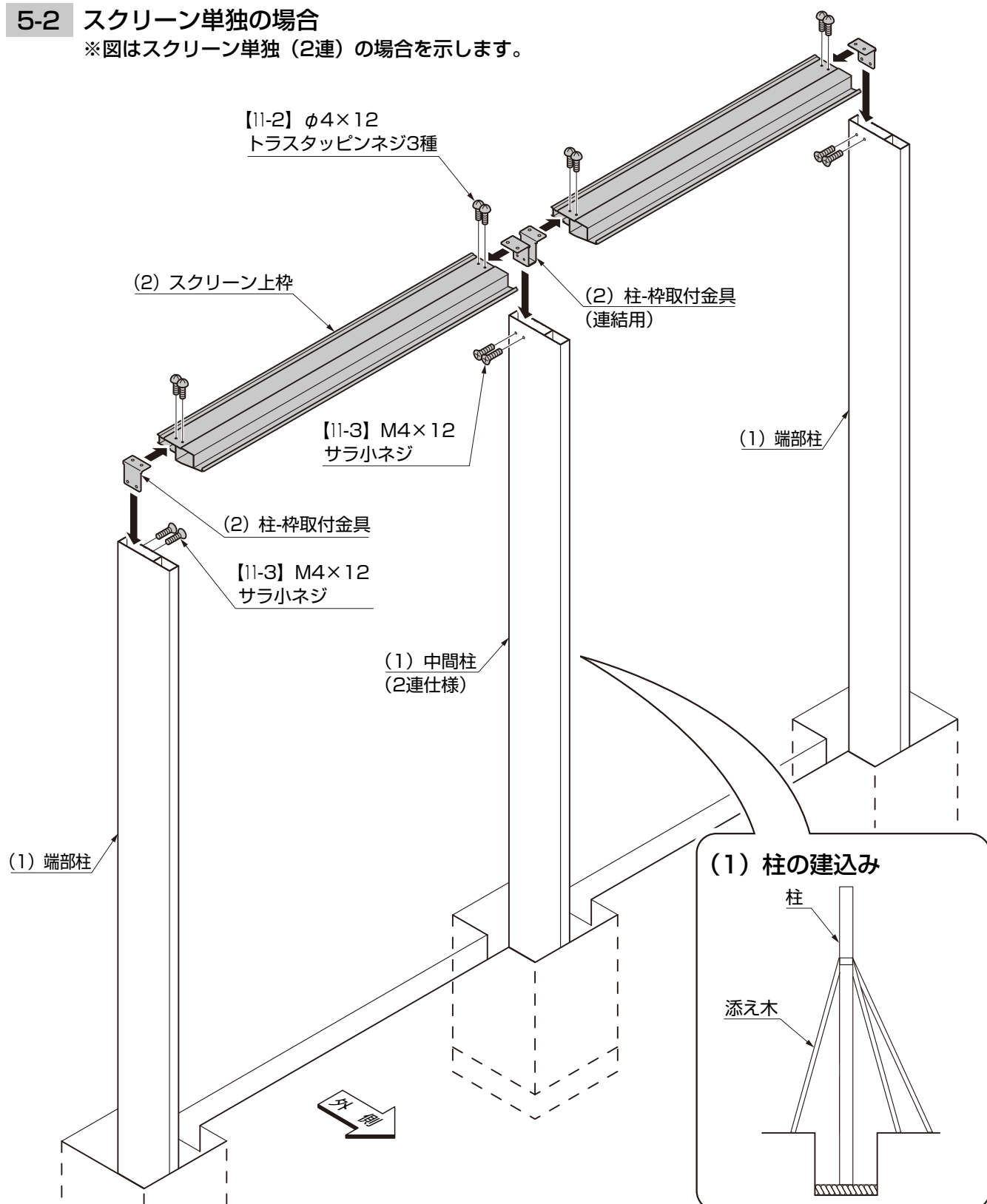
(4) 間口カバーの取付け



5. (つづき)

5-2 スクリーン単独の場合

※図はスクリーン単独（2連）の場合を示します。



(1) 柱の建込み

- ①端部柱、中間柱を基礎穴に建込み、添え木などで仮固定してください。

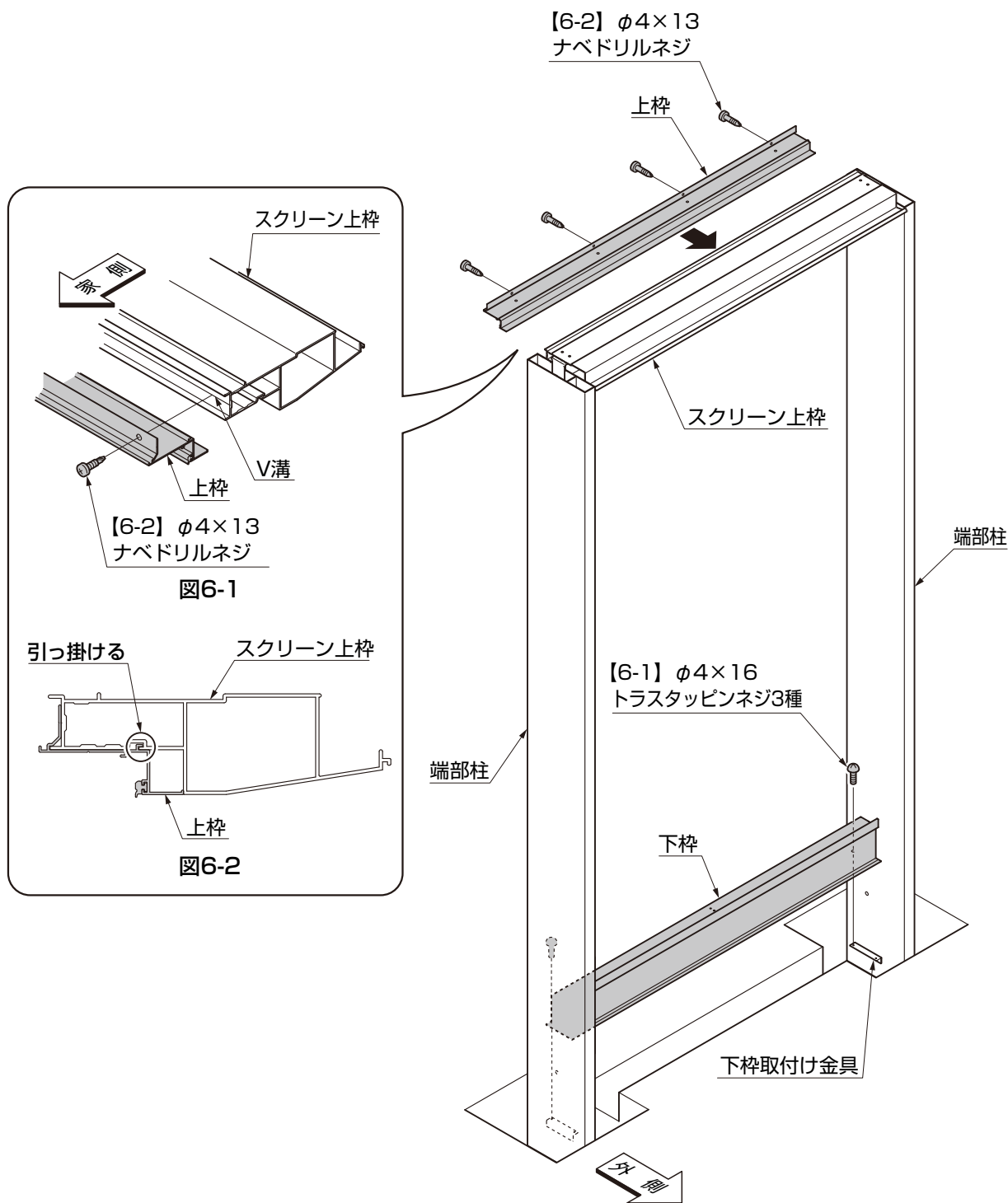
(2) スクリーン上枠の取付け

- ①柱-枠取付金具を各柱に【11-3】で取付けてください。
- ②スクリーン上枠を柱-枠取付金具、柱-枠取付金具（連結用）に【11-2】で取付けてください。

6. スクリーン部材の取付け ※スクリーン、スクリーン単独（1連）、（2連）の場合の作業です。

6-1 ガラススクリーンの場合

※図はスクリーン単独（1連）の場合を示します。



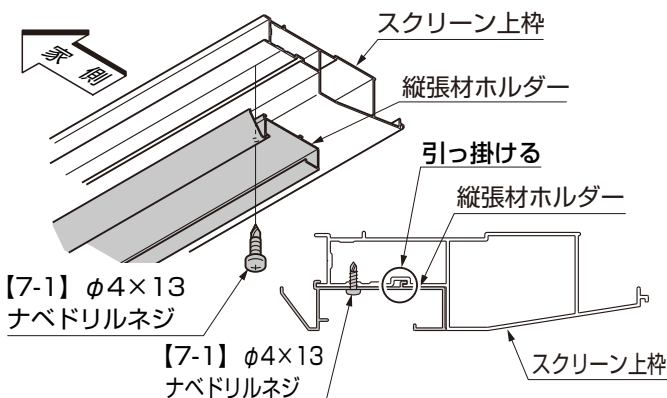
- ①下枠を下枠取付け金具に【6-1】で取付けてください。
- ②上枠をスクリーン上枠に【6-2】で取付けてください。

6. (つづき)

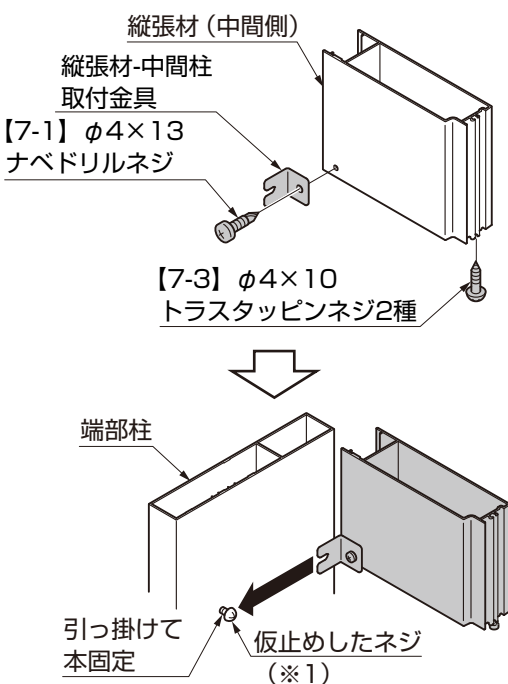
6-2 縦板張スクリーンの場合

※図はスクリーン単独（1連）の場合を示します。

(1) 縦張材ホルダーの取付け



(3) 縦張材（中間側）の取付け



(1) 縦張材ホルダーの取付け

- ① 縦張材ホルダーをスクリーン上枠に【7-1】で取付けてください。

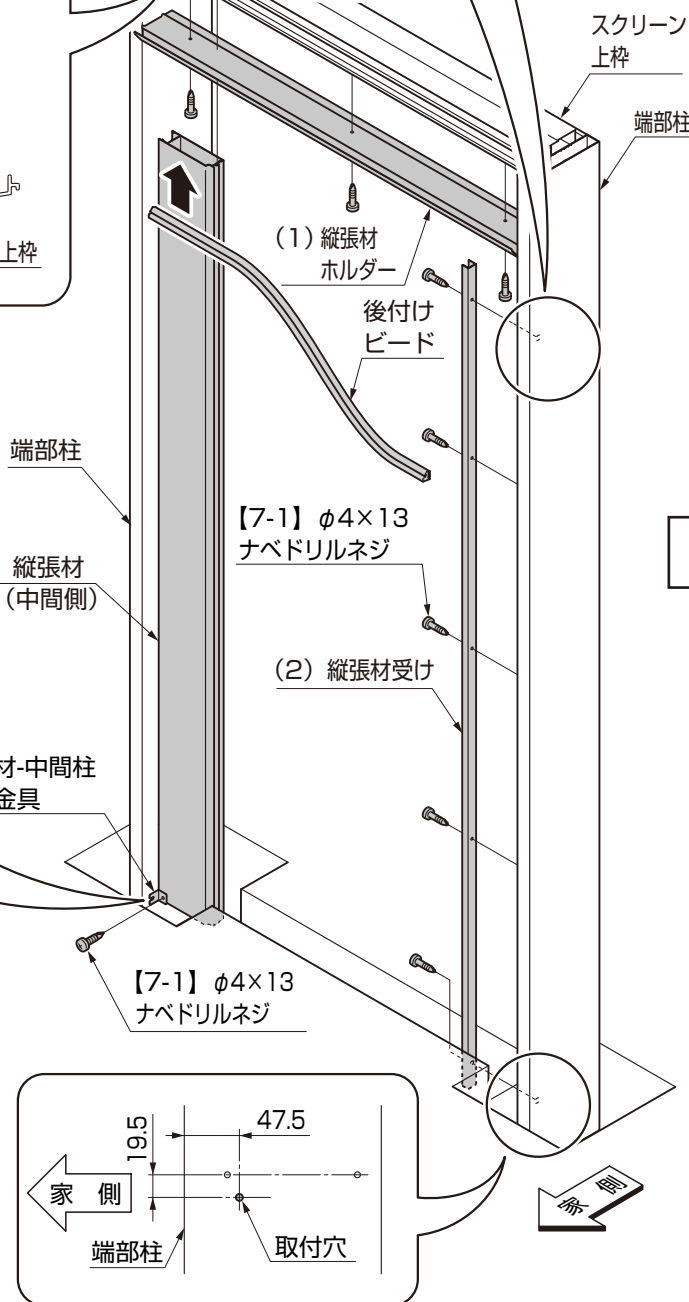
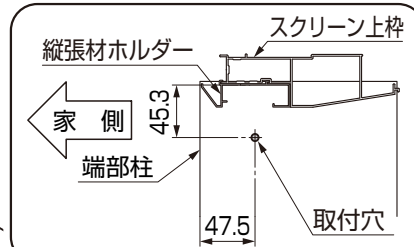
(2) 縦張材受けの取付け

- ① 縦張材受けを端部柱に【7-1】で取付けてください。

(3) 縦張材（中間側）の取付け

- ① 縦張材（中間側）の下部に【7-3】を取付けてください。
- ② 縦張材-中間柱取付金具を縦張材（中間側）に【7-1】で取付けてください。
- ③ 縦張材-中間柱取付金具を中間柱に仮止めされたネジ（※1）に引っ掛けてください。
- ④ 縦張材（中間側）をスクリーン上枠、縦張材ホルダーに【7-2】で取付け、端部柱に仮止めされたネジ（※1）を本固定してください。
- ⑤ 後付けビードを縦張材ホルダーと縦張材（中間側）の間にはめ込んでください。

【7-2】φ5×50
ナベタッピンネジ2種



ポイント

- 縦張材を1枚取付けるごとに後付けビードをはめ込んでください。

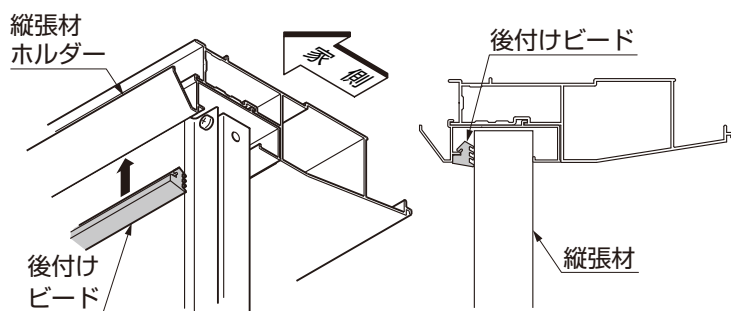
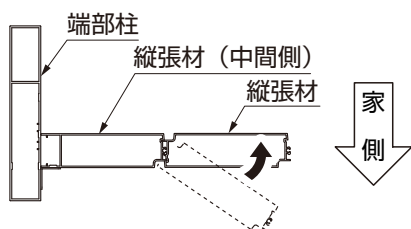
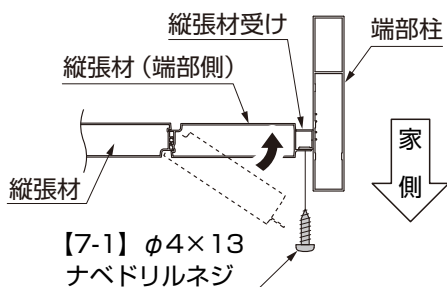


図6-3 後付けビードの取付け

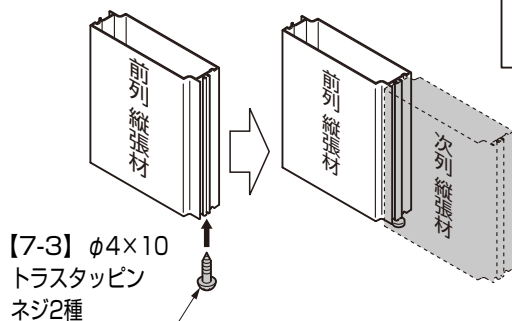
(4) 縦張材の取付け



(5) 縦張材 (端部側) の取付け



(4) 縦張材の取付け



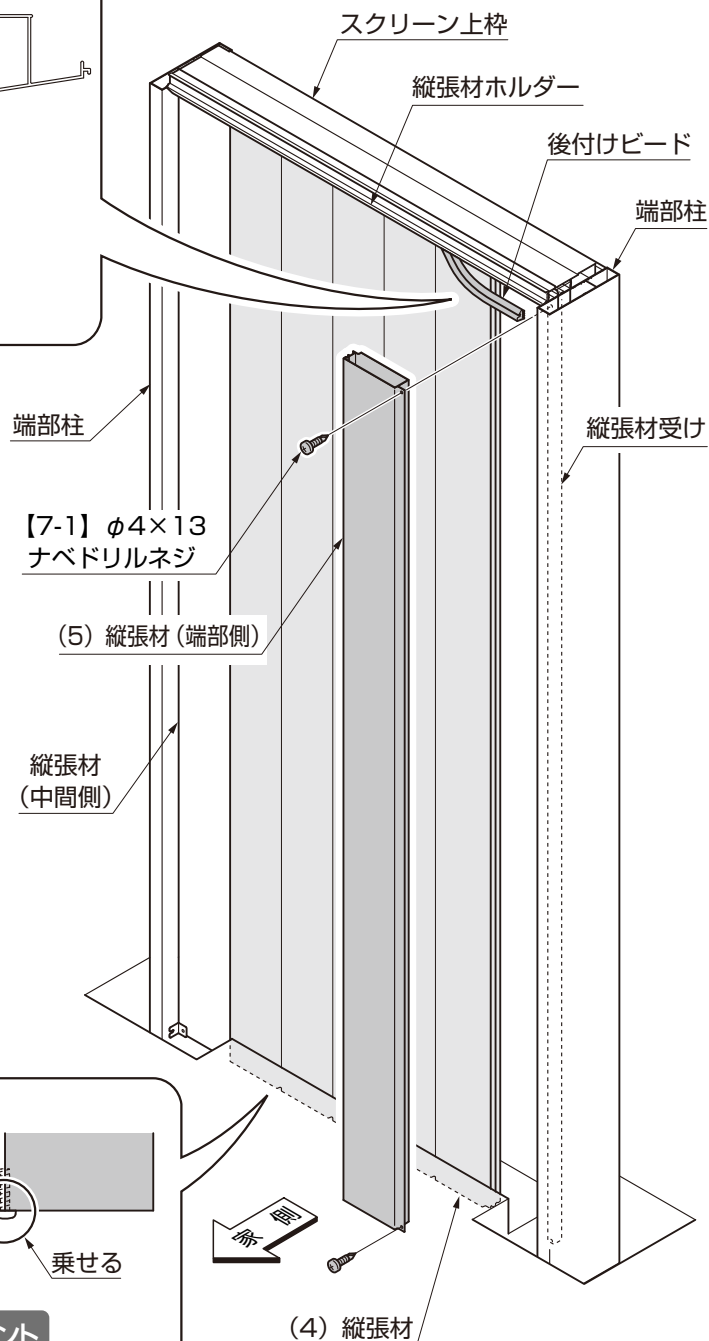
ポイント
●前列のネジ頭に次列の縦張材を乗せてください。

(4) 縦張材の取付け

- ① 縦張材の下部に【7-3】を取付けてください。
- ② 縦張材を縦張材 (中間側) または前列縦張材下部のネジ頭にのせ、回転してはめ込んでください。
- ③ 後付けビードを縦張材ホルダーと縦張材の間にはめ込んでください。

(5) 縦張材 (端部側) の取付け

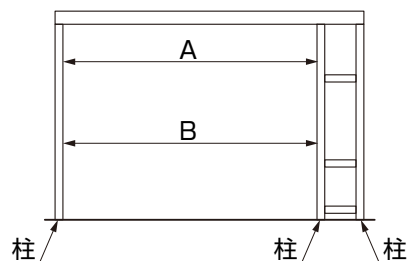
- ① 縦張材 (端部側) を前列縦張材下部のネジ頭にのせ、回転してはめ込んでください。
- ② 縦張材 (端部側) を縦張材受けに【7-1】で取付けてください。
- ③ 後付けビードを縦張材ホルダーと縦張材 (端部側) の間にはめ込んでください。



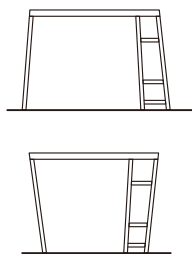
7. 基礎の施工

7-1 施工寸法の確認と基礎の施工

(1) 間口寸法の確認



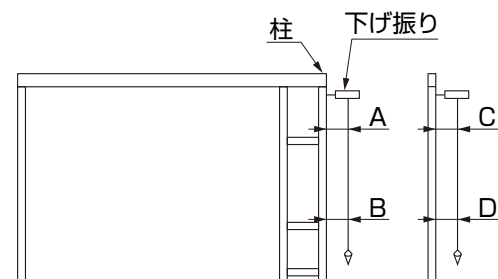
寸法を外れたイメージ



ポイント

- A、Bの内々寸法をスケールを使用して測り、誤差がないことを確認してください。

(2) 柱の倒れの確認



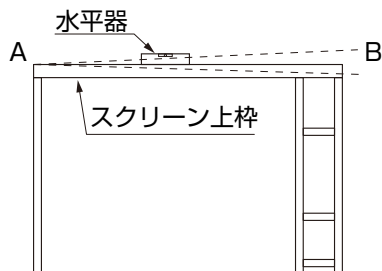
寸法を外れたイメージ



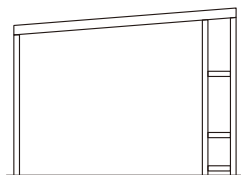
ポイント

- A、BとC、Dの上下2箇所の寸法を下げ振りを使用して測り、誤差がないことを確認してください。
($\pm 2.5\text{mm}$ 以内)

(3) スクリーン上枠の水平の確認



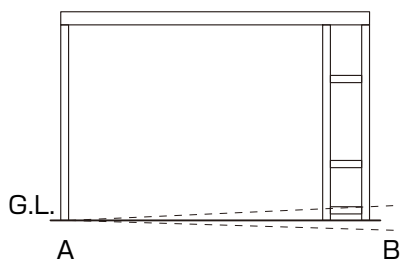
寸法を外れたイメージ



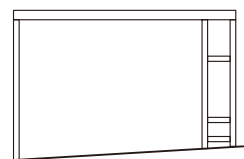
ポイント

- スクリーン上枠に水平器を置き、A、B間が水平であることを確認してください。
($\pm 2.5\text{mm}$ 以内)

(4) G.L.の水平の確認



寸法を外れたイメージ



ポイント

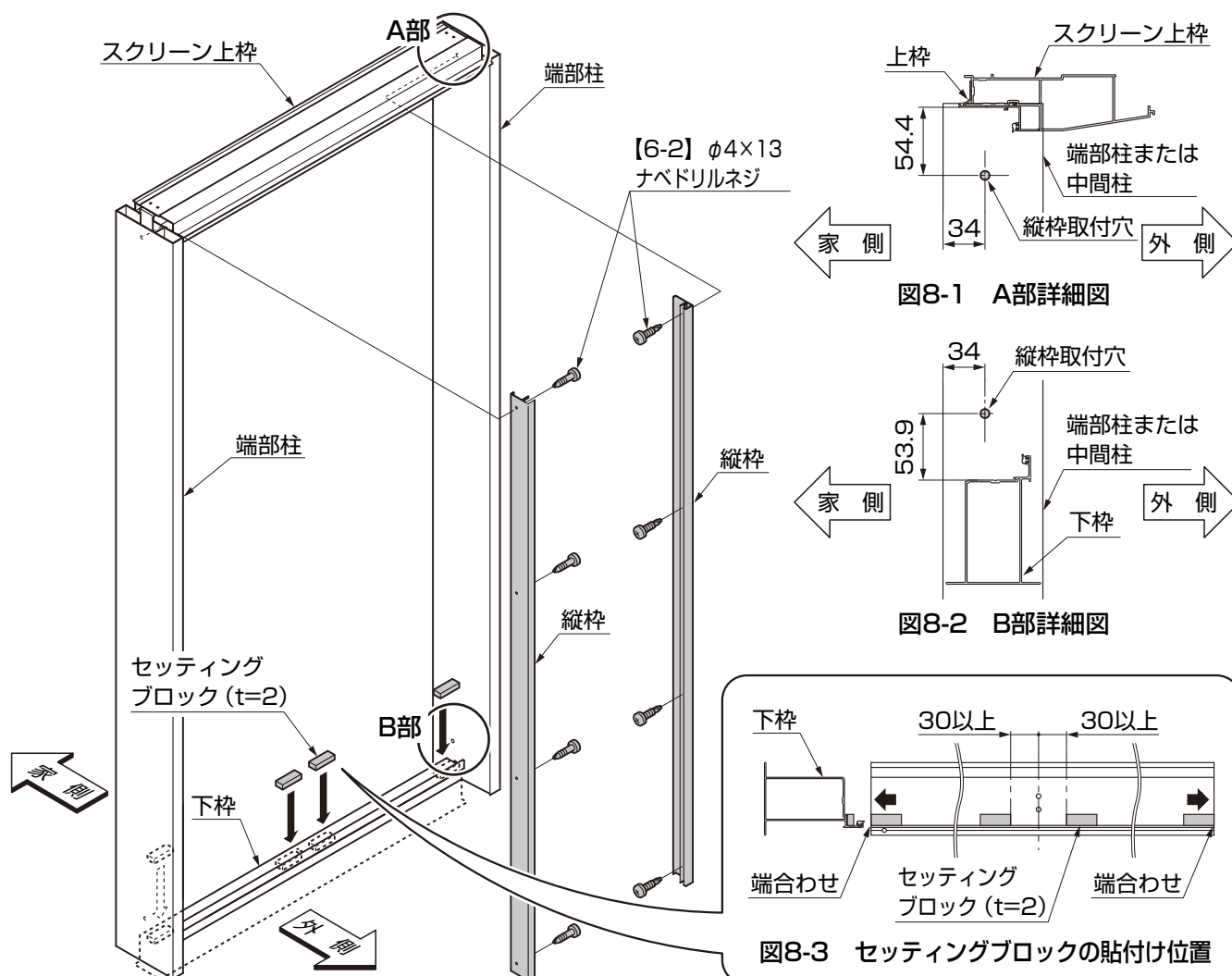
- G.L.面A、B間が水平であることを確認してください。
($\pm 2.5\text{mm}$ 以内)

① 施工寸法を確認し、基礎を養生してください。

8. ガラススクリーンの取付け

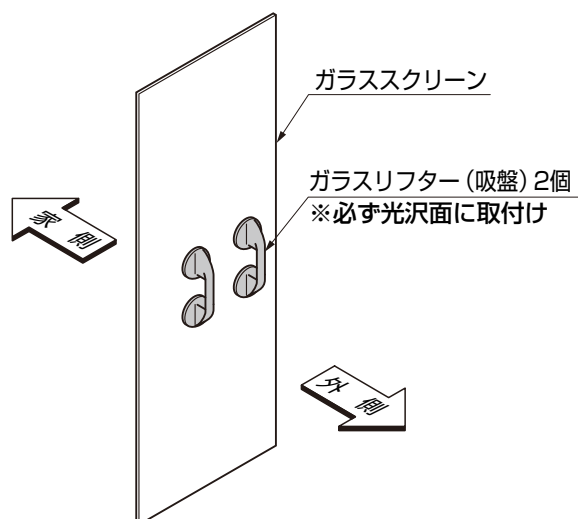
※スクリーン、スクリーン単独（1連）、（2連）の場合の作業です。
※図はスクリーン単独（1連）の場合を示します。

8-1 セッティングブロック・縦枠の取付け

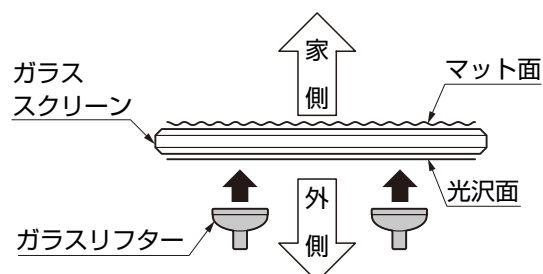


- ①セッティングブロックのはく離紙をはがし、下枠に張付けてください。
- ②縦枠を柱に【6-2】で取付けてください。

8-2 ガラススクリーンの取付準備



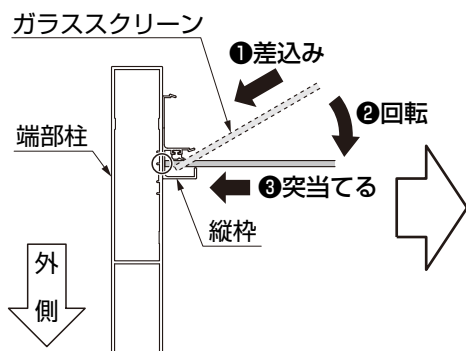
⚠ 注意



- ガラスリフター（吸盤）は、必ずガラススクリーンの光沢面に取付けてください。マット面に取付けると脱落し、ガラススクリーンの破損やケガをするおそれがあります。
ガラス1枚あたりの重量は約20Kgです。
20Kgの重量に対応しているガラスリフターをご用意ください。

8. (つづき)

8-3 ガラススクリーンの取付け



8-4 縦枠カバーの取付け

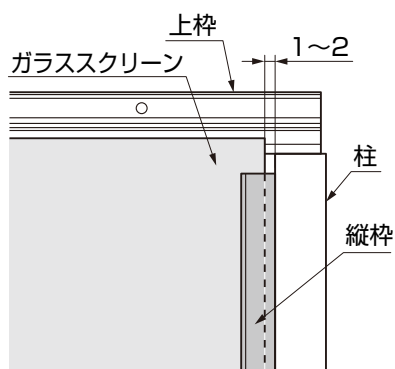
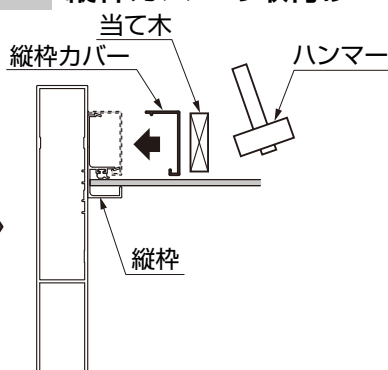


図8-4 家側から見た図
(ガラススクリーン上側)

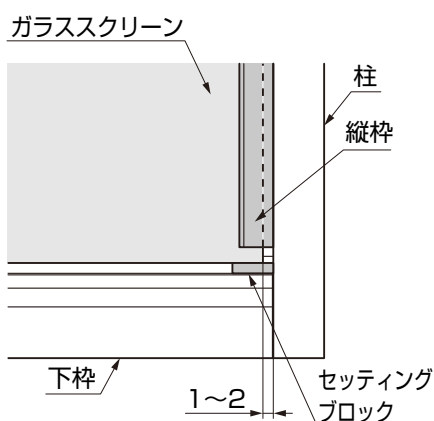
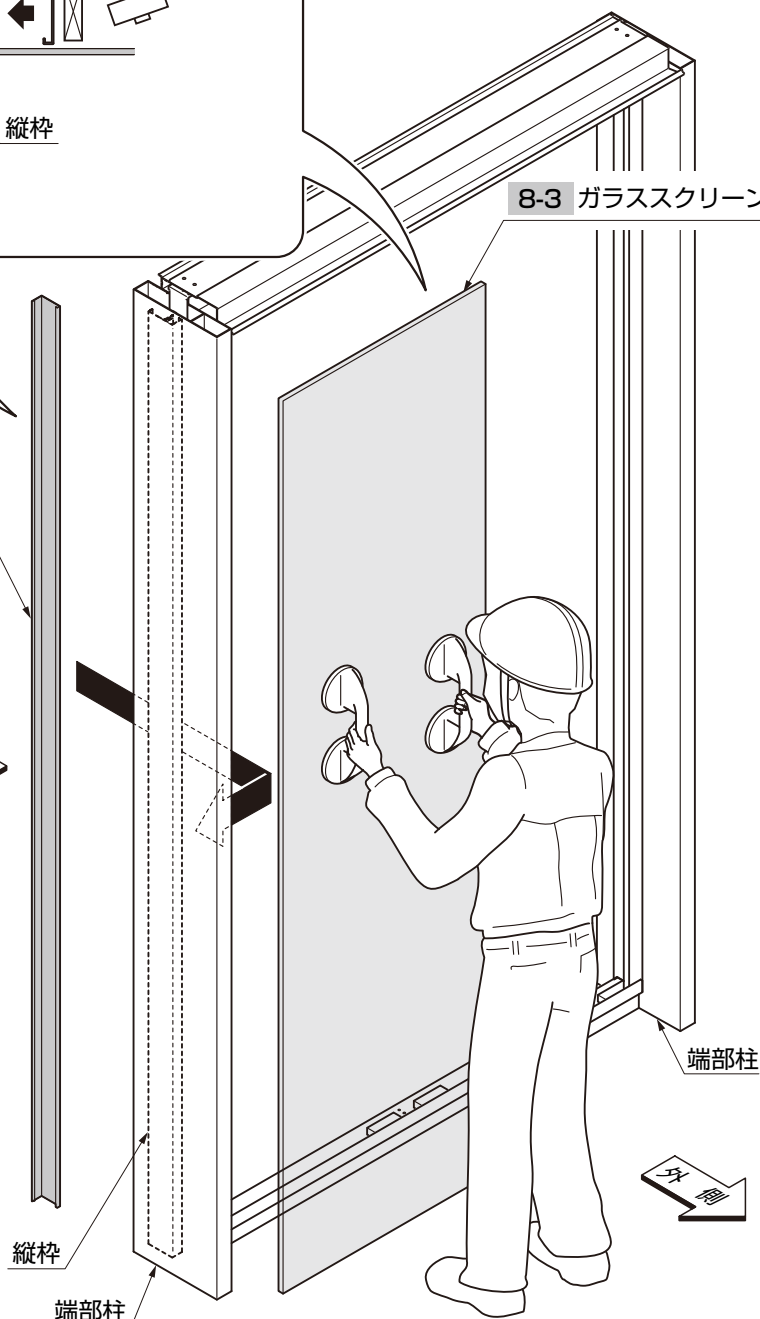


図8-5 家側から見た図
(ガラススクリーン下側)

8-4 縦枠カバー



8-3 ガラススクリーン



8-3 ガラススクリーンの取付け

①ガラススクリーンを縦枠に回転させてはめ込んでください。

ポイント

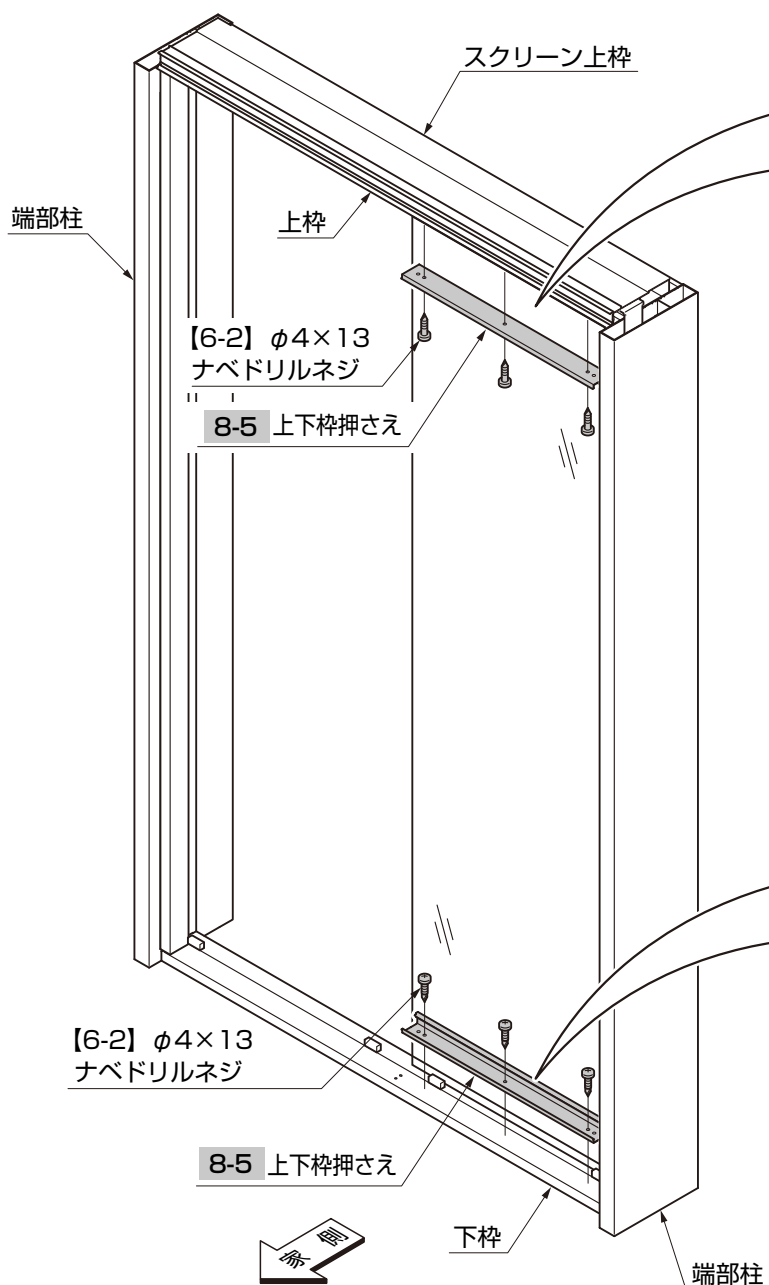
- ガラススクリーンが縦枠に突き当たるようにはめ込んでください。
- ガラススクリーンがセッティングブロックの上に乗っていることを確認してください。

8-4 縦枠カバーの取付け

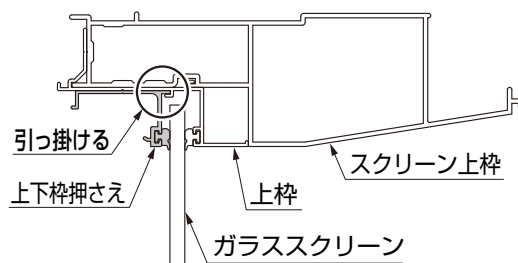
①縦枠カバーを縦枠にはめ込んでください。

ポイント

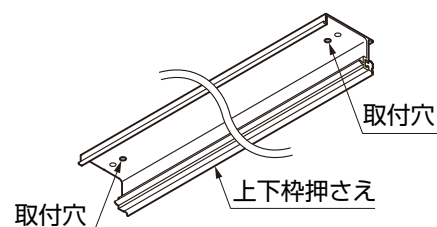
- 縦枠カバーは、当て木をしてハンマーなどで叩くなどして縦枠にしっかりはめ込んでください。



8-5 上下枠押さえの取付け

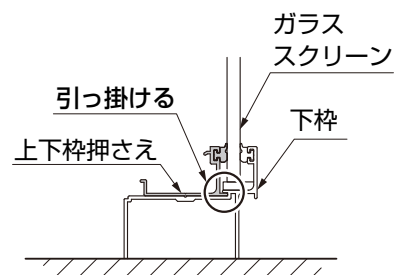


ポイント



- 上下枠押さえ両端の取付穴は、内側の穴を使用して取付けてください。

8-5 上下枠押さえの取付け



8-5 上下枠押さえの取付け

- ①上下枠押さを上枠、下枠に【6-2】で取付けてください。

ポイント

- 上下枠押さえの取付けが終わったら、8-3 ～ 8-5 と同様にもう一枚のガラススクリーンを取付けてください。

8. (つづき)

8-6 中間受けの取付け

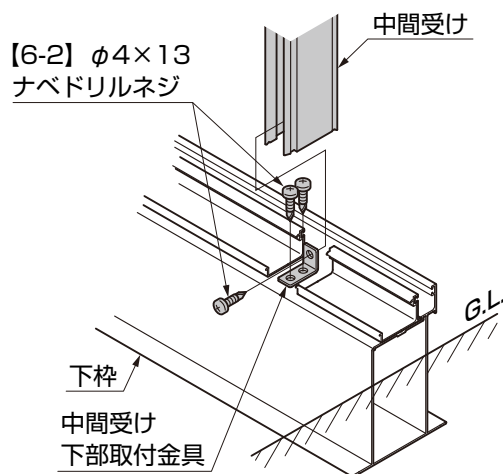


図8-6 下枠側の取付け

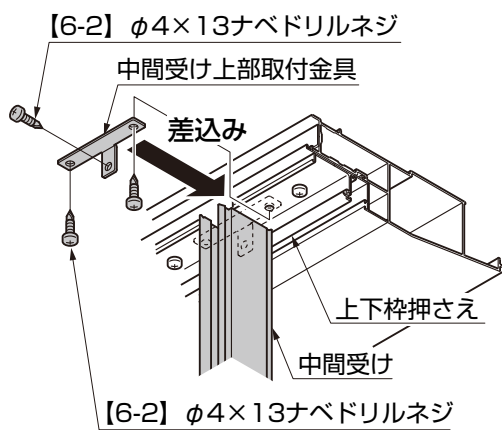
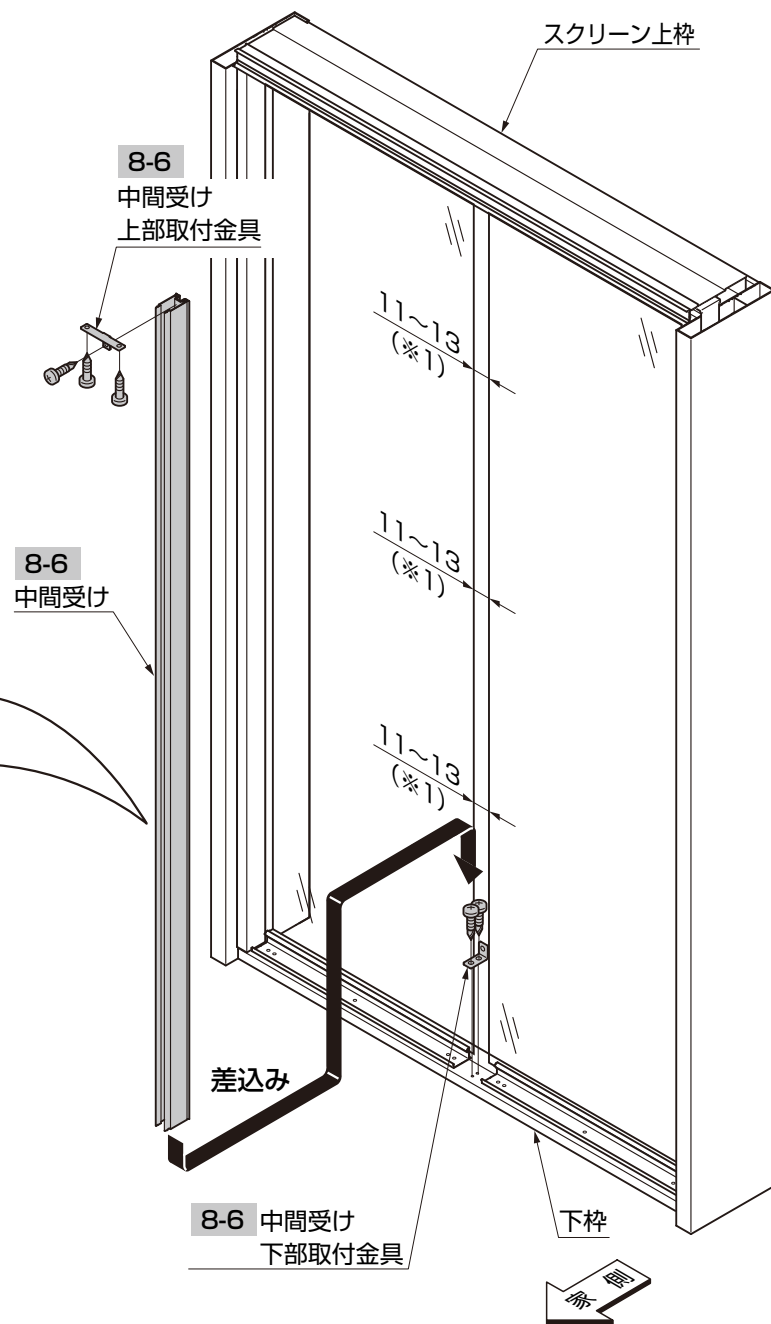


図8-7 上枠側の取付け

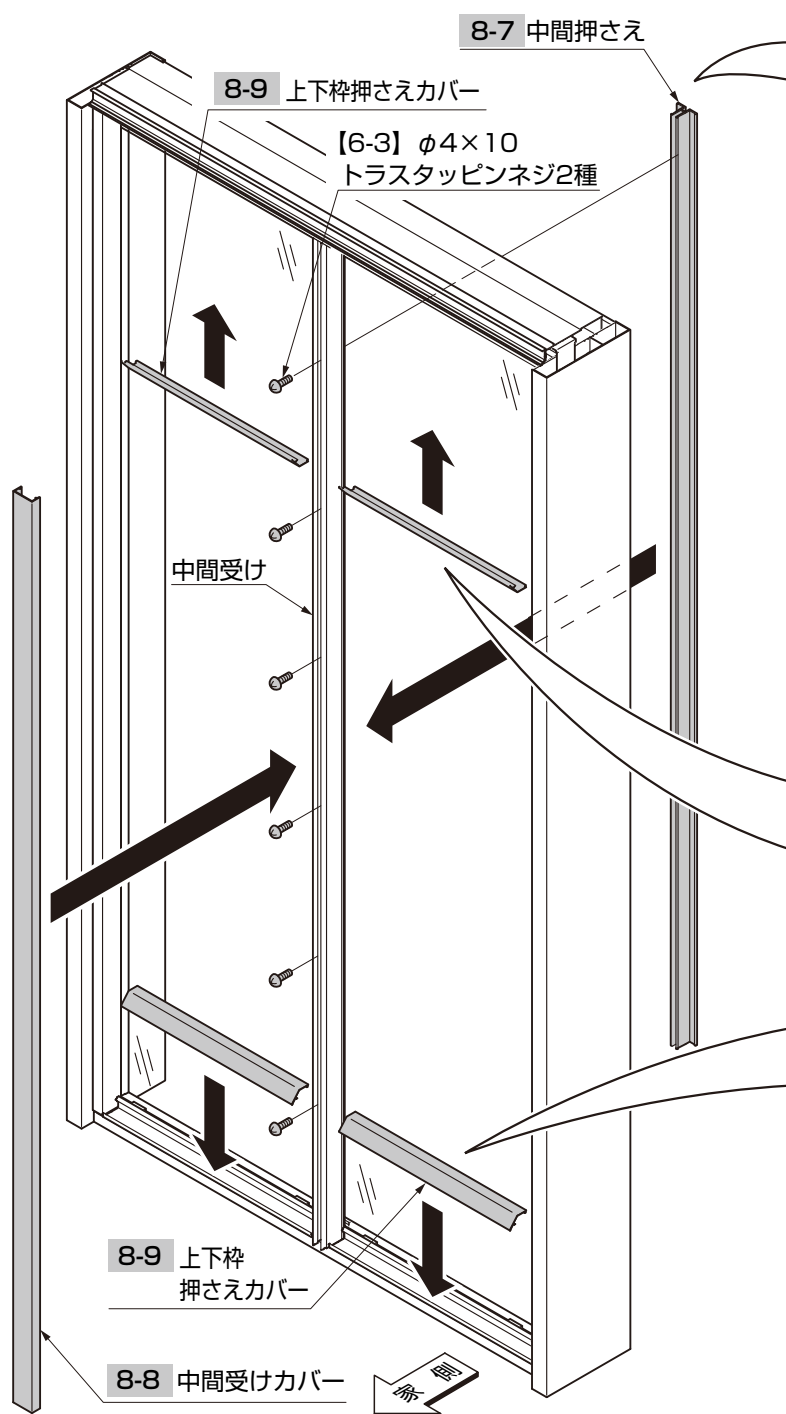


8-6 中間受けの取付け

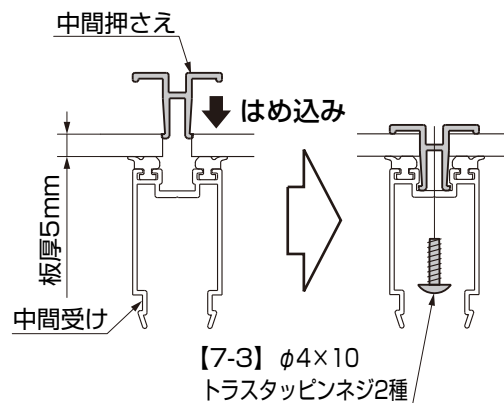
ポイント

●ガラスとガラスのすき間が11～13mm (※1) になっていることを確認してください。(上側、中間、下側の3箇所)

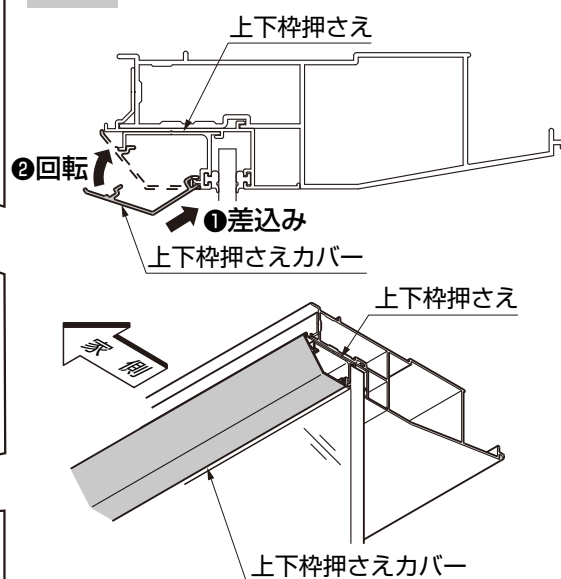
- ① 中間受け下部取付金具を下枠に【6-2】で取付けてください。
- ② 中間受けを中間受け下部取付金具【6-2】で取付けてください。
- ③ 中間受け上部取付金具を中間受けと上下枠押さえに【6-2】で取付けてください。



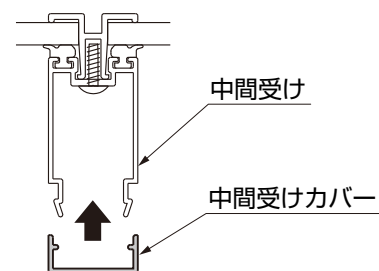
8-7 中間押さへの取付け



8-9 上下枠押さえカバーの取付け



8-8 中間受けカバーの取付け



8-7 中間押さへの取付け

- ① 中間押さを中間受けにはめ込み、【6-3】で固定してください。

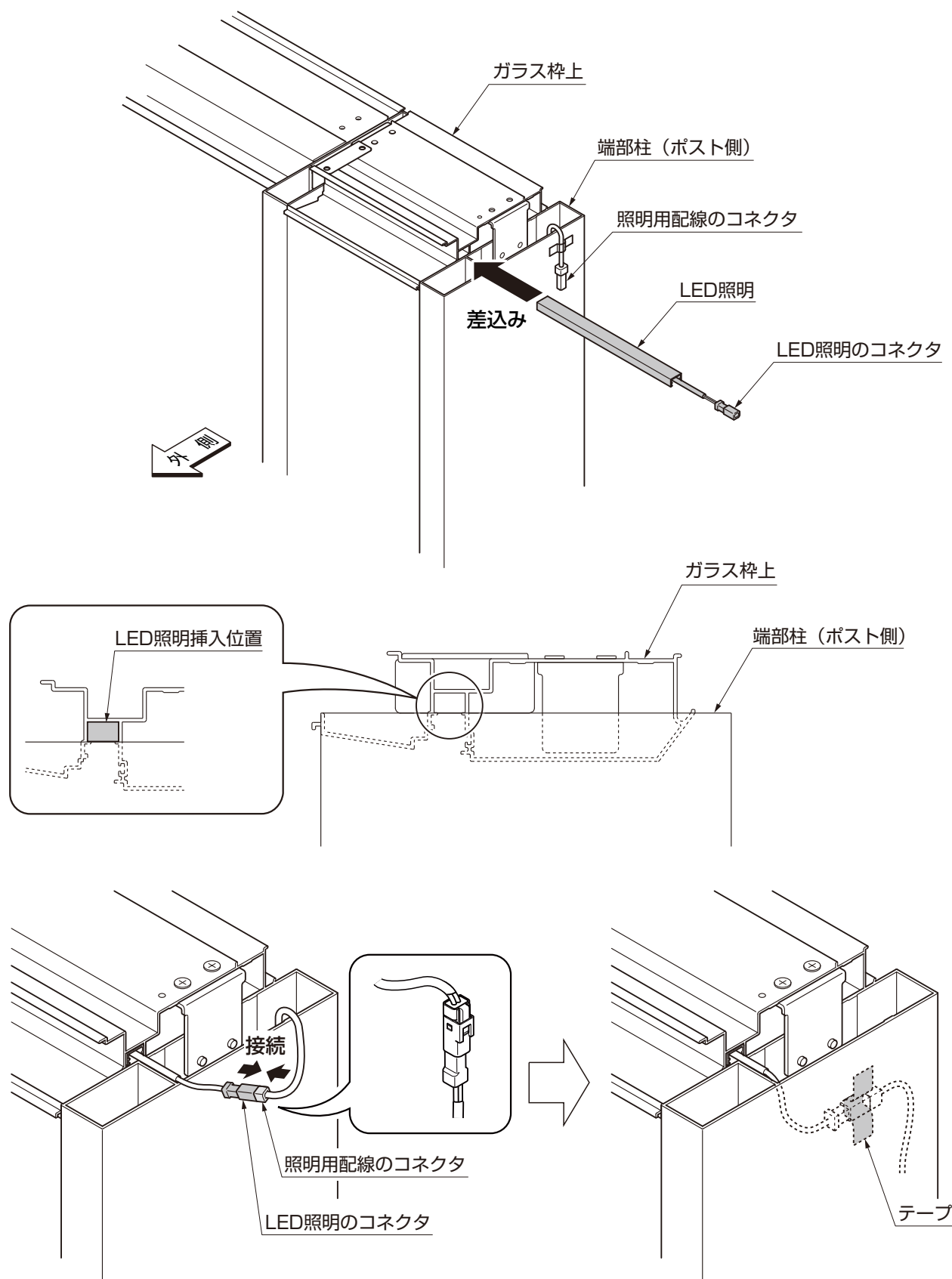
8-8 中間受けカバーの取付け

- ① 中間受けカバーを中間受けにはめ込んでください。

8-9 上下枠押さえカバーの取付け

- ① 上下枠押さえカバーを上下枠押さえに回転させてはめ込んでください。

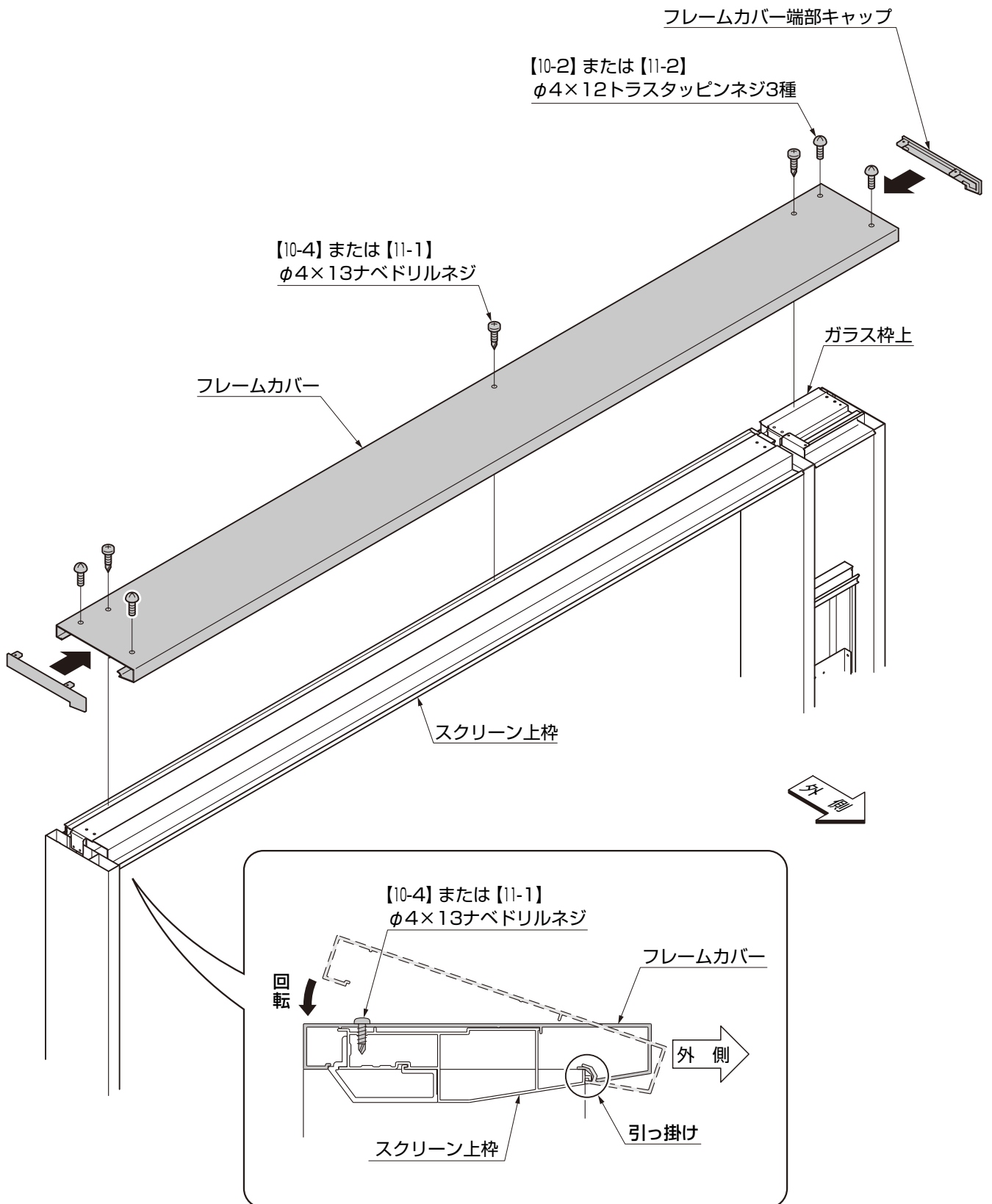
9. LED照明の取付け **オプション** ※スクリーン、アーチの場合の作業です。



- ①LED照明をガラス枠上に差込んでください。
- ②LED照明のコネクタと照明用配線のコネクタを接続し、柱内部にテープ止めしてください。

10. カバーの取付け

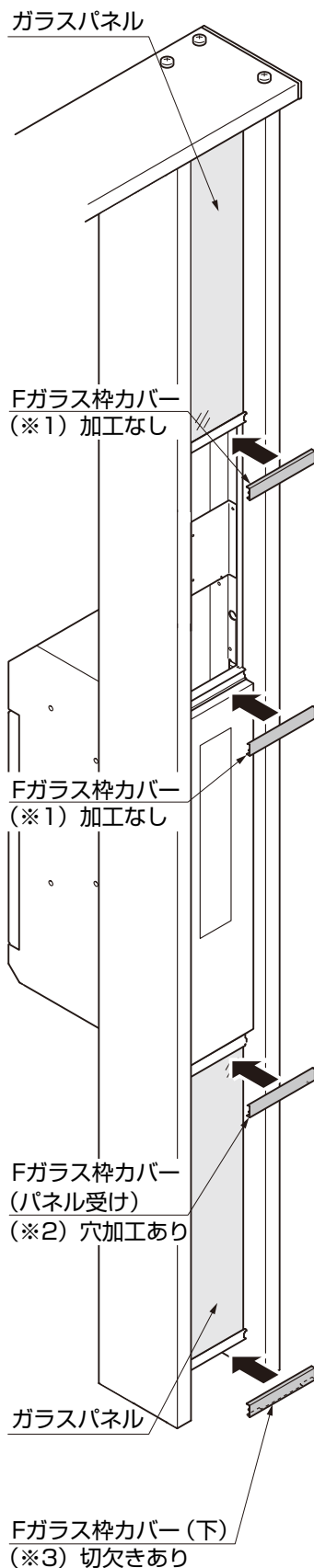
※図はアーチの場合を示します。



- ① フレームカバー端部キャップをフレームカバーに【10-2】または【11-2】で取付けてください。
- ② フレームカバーをスクリーン上枠、ガラス枠上に【10-4】または【11-1】で取付けてください。

11. ファンクションユニットの組立て ※スクリーン、アーチの場合の作業です。

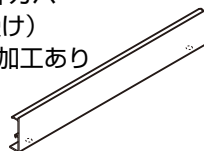
11-1 ガラスパネルの取付け



Fガラス枠カバー
(※1) 加工なし



Fガラス枠カバー
(パネル受け)
(※2) 穴加工あり

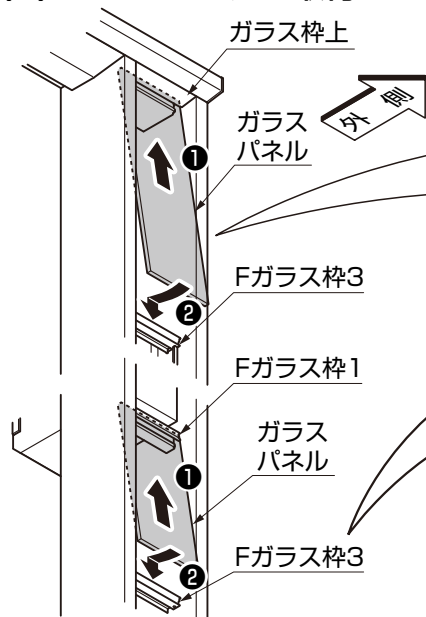


Fガラス枠カバー (下)
(※3) 切欠きあり



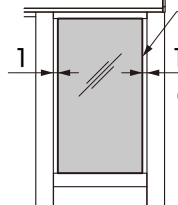
図11-1 Fガラス枠カバーの違い

(1) ガラスパネルの取付け

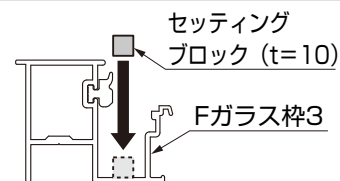


ポイント

ガラスパネル

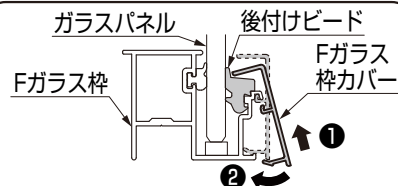
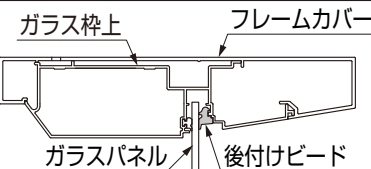
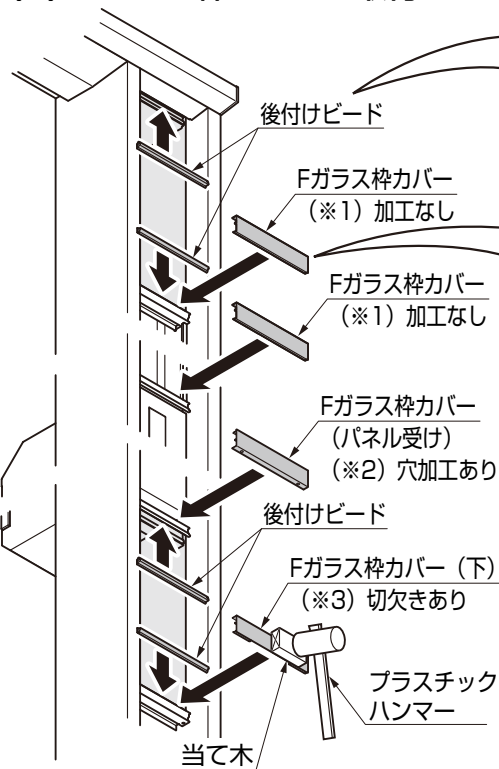


●柱とガラスの間が
両側1mmになるよう
にしてください。
(上下ともに)



- ①セッティングブロック (t=10) をFガラス枠3に取付けてください。
- ②ガラスパネルをFガラス枠に建込んでください。

(2) Fガラス枠カバーの取付け



- ①後付けビードをFガラス枠に取付けてください。
- ②Fガラス枠カバーをFガラス枠にはめてください。

ポイント

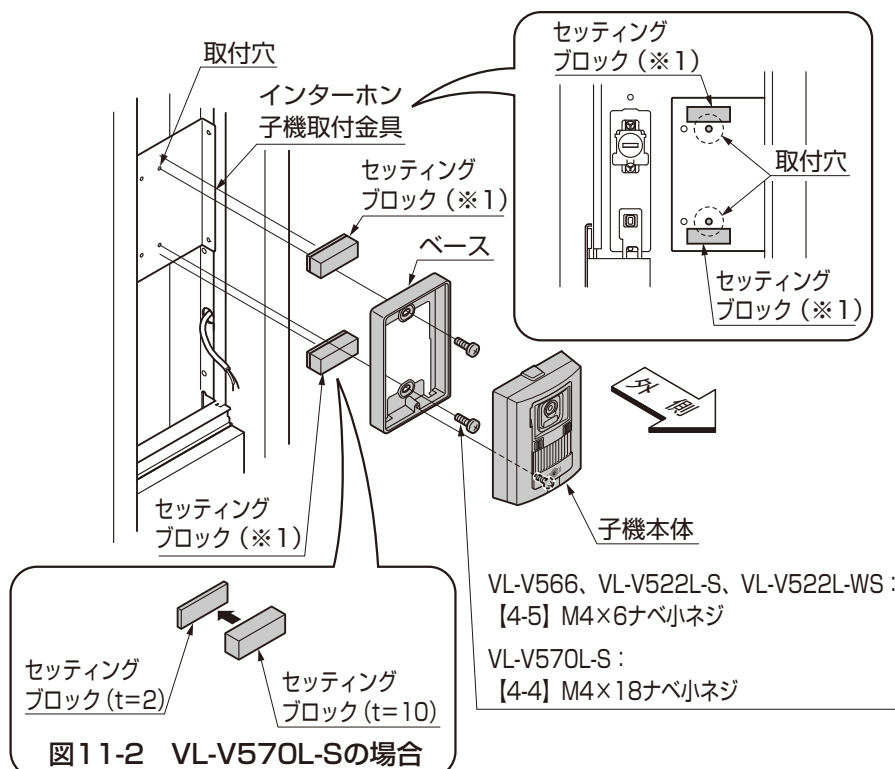
- Fガラス枠カバーには3種類あり、取付け箇所が決まっています。(※1～※3参照)
- Fガラス枠カバーがはめにくい場合は、当て木をしてハンマーで叩き込んでください。

11-2 インターホンの取付け ※内蔵型の場合

ポイント

●取付けるインターホンの種類によって取付け方法が異なりますので、ご注意ください。

(1) パナソニック (株) 製 VL-V566、VL-V570L-S、VL-V522L-S、VL-V522L-WSの場合

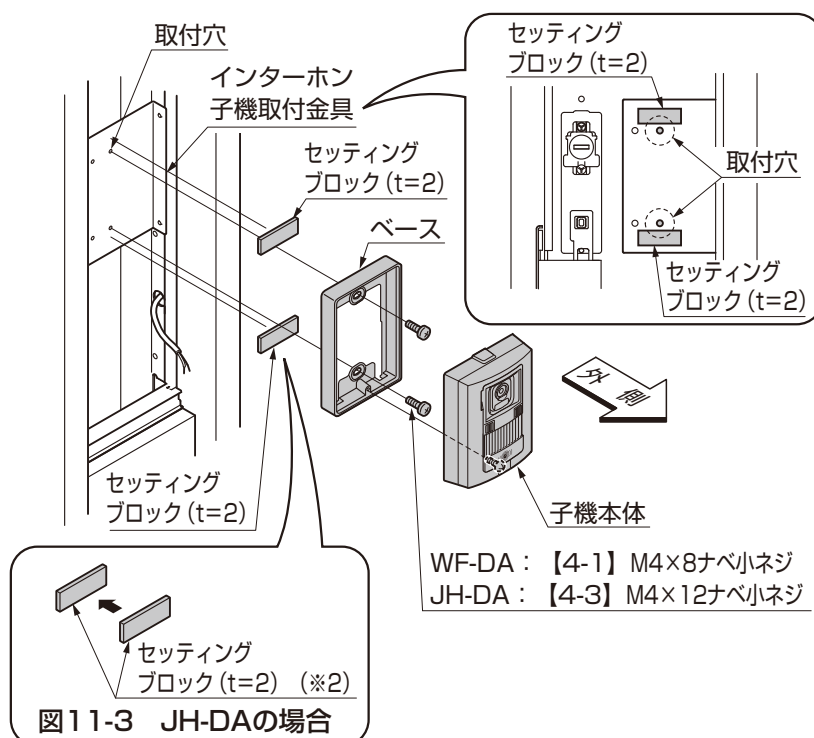


ポイント

- VL-V566、VL-V522L-S、VL-V522L-WSを取付ける場合は、セッティングブロックの取付けは不要です。
- VL-V570L-Sを取付ける場合はセッティングブロックをインターホン子機取付金具に取付けてください。(※1)

- ①ベースをインターホン子機取付金具に【4-4】または【4-5】で取付けてください。
- ②子機本体とインターホン用の配線を接続し、子機本体をベースに本体取付ネジで取付けてください。

(2) アイホン (株) 製 WF-DA、JH-DAの場合



- ①セッティングブロックをインターホン子機取付金具に取付けてください。

ポイント

- WF-DAを取付ける場合は、セッティングブロックを1枚ずつ取付けてください。
- JH-DAを取付ける場合はセッティングブロックを重ね貼りして、インターホン子機取付金具に取付けてください。(※2)

- ②ベースをインターホン子機取付金具に【4-1】または【4-3】で取付けてください。
- ③子機本体とインターホン用の配線を接続し、子機本体をベースに本体取付ネジで取付けてください。

11. (つづき)

11-3 サインの取付け

(1) ファンクションパネルの穴加工

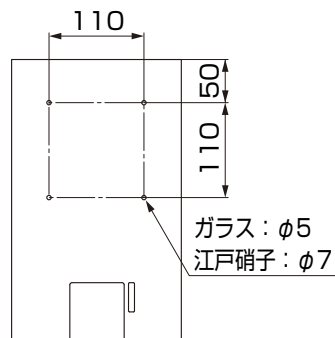


図11-4
ガラス・江戸硝子

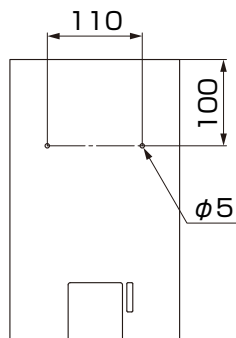


図11-5
鋳物

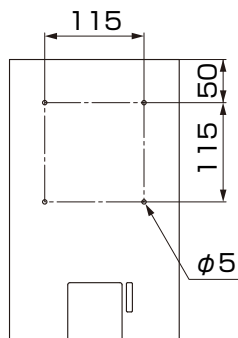
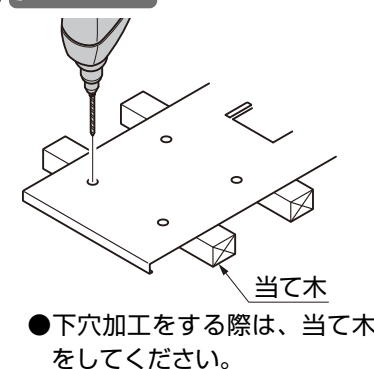


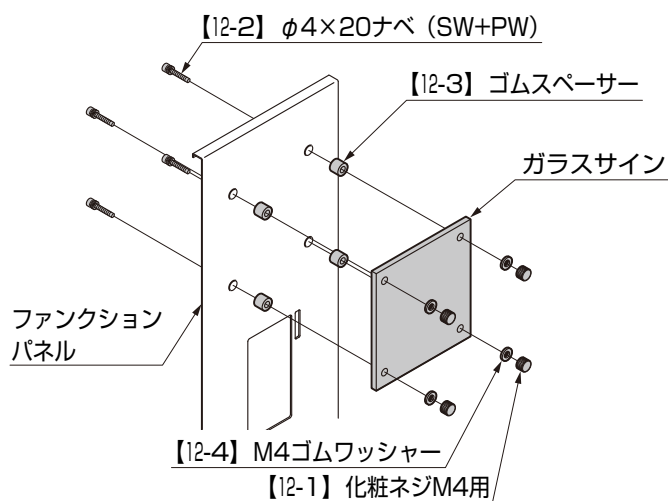
図11-6
備前焼

ポイント



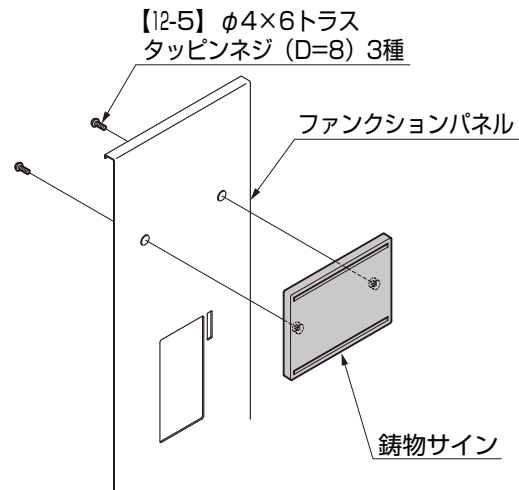
- ① ファンクションパネルにφ5（江戸硝子のみφ7）の穴加工をしてください。

(2) ガラスサインの取付け



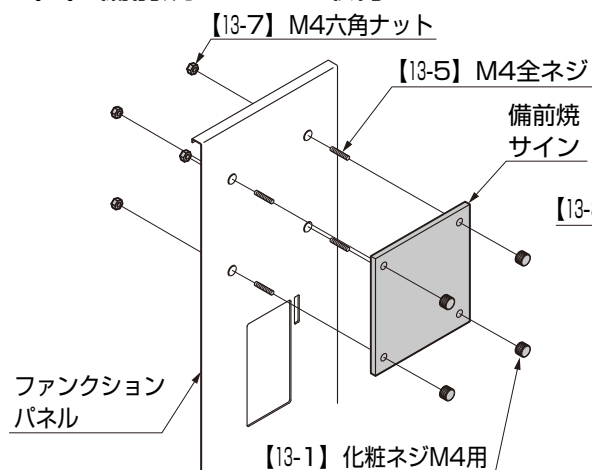
- ① ガラスサインをファンクションパネルに【12-1】、【12-2】、【12-3】、【12-4】で取付けてください。

(3) 鋳物サインの取付け



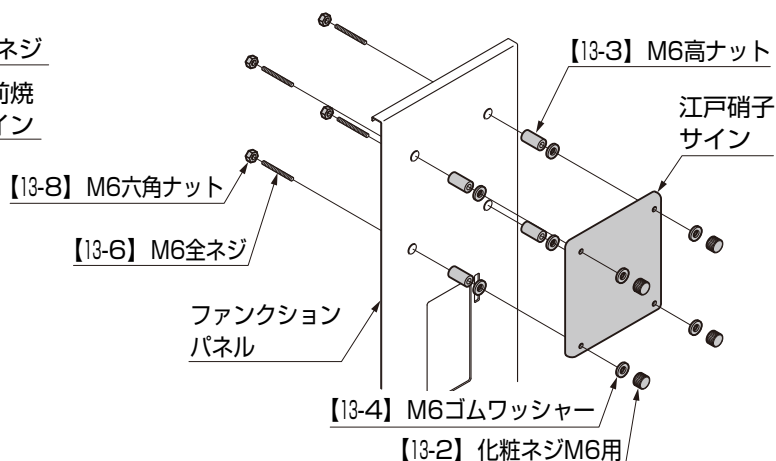
- ① 鋳物サインをファンクションパネルに【12-5】で取付けてください。

(4) 備前焼サインの取付け



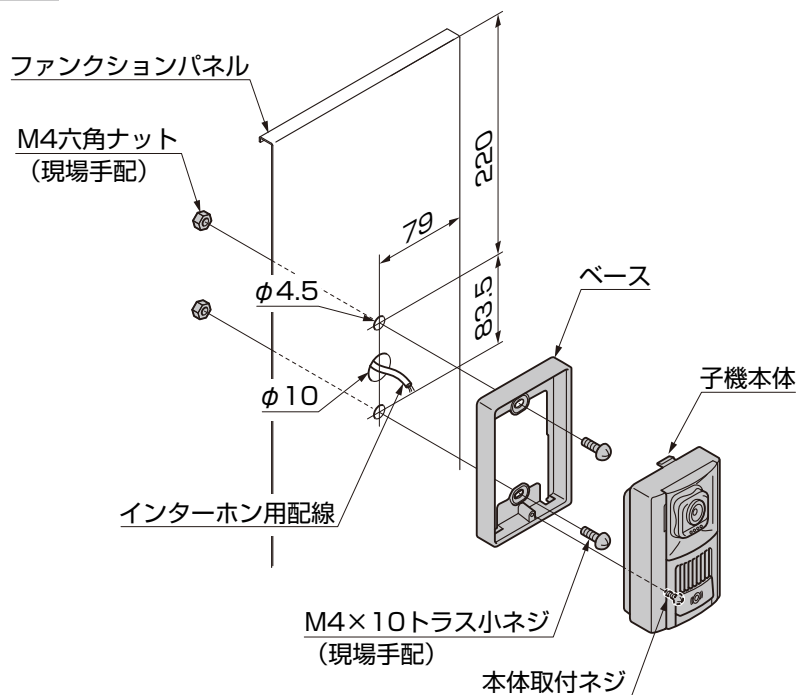
- ① 備前焼サインをファンクションパネルに【13-1】、【13-5】、【13-7】で取付けてください。

(5) 江戸硝子サインの取付け

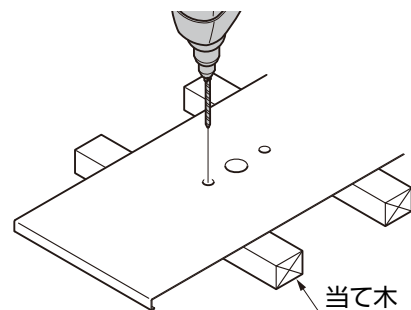


- ① 江戸硝子サインをファンクションパネルに【13-2】、【13-3】、【13-4】、【13-6】、【13-8】で取付けてください。

11-4 インターホンの取付け ※面付型の場合



ポイント



●下穴加工をする際は、当て木をしてください。

- ①ファンクションパネルに穴加工をしてください。
- ②ベースをファンクションパネルに「M4×10トラス小ネジ」、「M4六角ナット」で取付けてください。
- ③子機本体の取付けおよび配線の子機本体の取付説明書を参照して行ってください。

11-5 ファンクション補強材の取付け ※図はインターホン内蔵型の場合を示します。

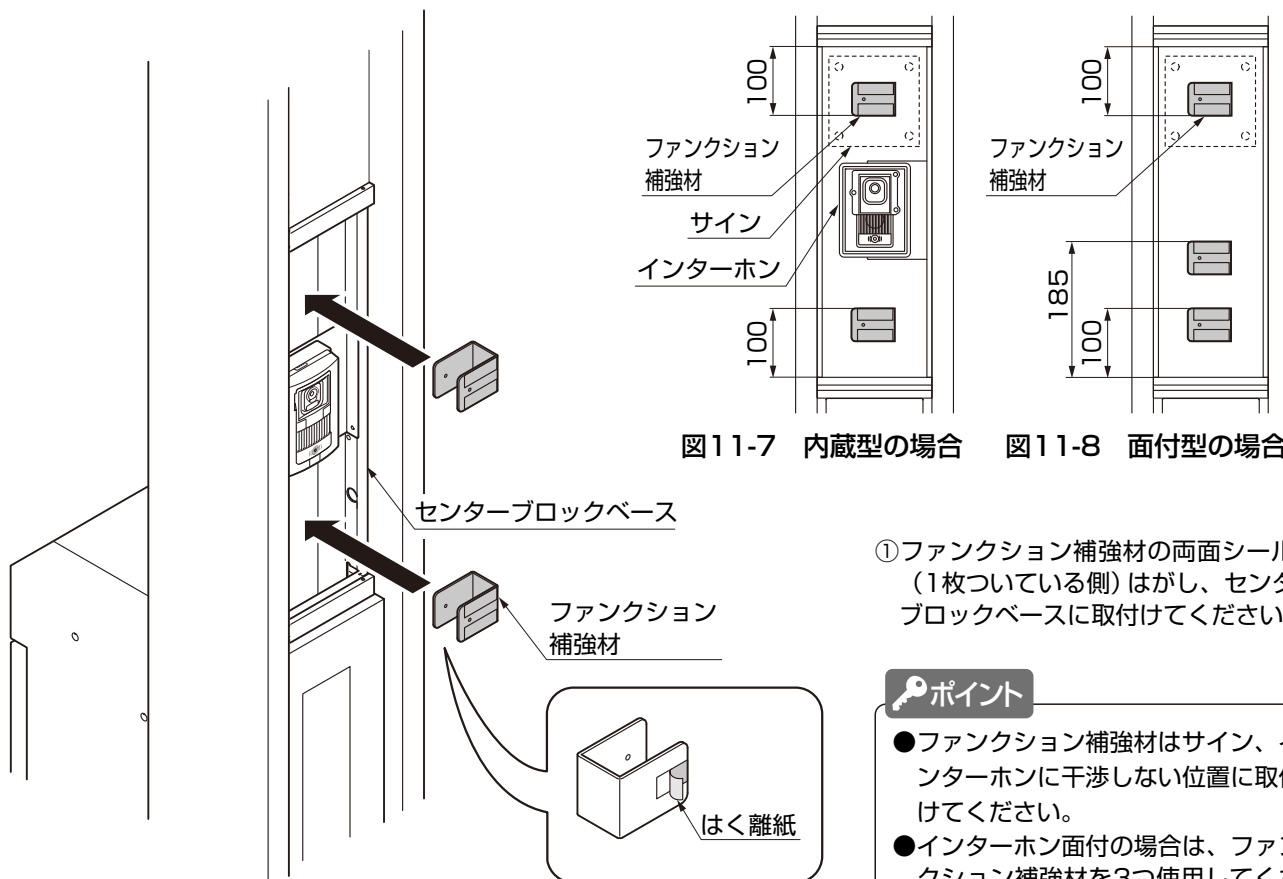


図11-7 内蔵型の場合 図11-8 面付型の場合

- ①ファンクション補強材の両面シールを(1枚ついている側)はがし、センターブロックベースに取付けてください。

ポイント

- ファンクション補強材はサイン、インターホンに干渉しない位置に取付けてください。
- インターホン面付の場合は、ファンクション補強材を3つ使用してください。(図11-8参照)

